

一般選抜 出題傾向／対策・出題のねらい

国 語

〈出題傾向〉

〈現代文〉

二〇〇〇～三五〇〇字程度の文章が出題されており、二五〇〇字程度の比較的短めの文章が多い。二〇二三年度の出題文は、一作品を除いて評論文だった。出題文のテーマは、歴史・哲学・文学に関するものなどで、一九六〇～二〇二〇年代に書かれた文章が使われている。出題文は論理的な読解力を求める内容だが、難解なものはない。

個々の設問内容に関して、漢字問題は例年必出で、書き取りだけでなく、読み取りが出題される場合もあり、いずれの日程においても、六～八問ほど出題されている。大半の日程では、語句の意味を問う問題も出題され、単語・熟語・慣用表現について問われている。特に難解な語句は問われていないが、誤用されやすい表現が問われることもあり、選択肢の中から正確な意味を選ぶ力が必要である。また、接続語・語句・脱落文を空欄に補充する問題など、本文の文脈、論理を精緻に読み取らせる問題が多く出題された。

さらに、傍線部の意味・内容を問う問題が全ての日程で出題されている。また、傍線部における筆者の心情や考えを問う問題や本文との内容合致を問う問題など、本文全体の正確な内容の把握が要求される問題も出題される傾向にある。こうした本文全体の把握が必要とされる問題は、設問同士が同内容の対比であったり、一つの設問で問われた筆者の主張が他の設問でさらに発展的に問われたりする場合があり、一つの設問の間違いが他の設問に波及して、得点を大きく落とす可能性があるため、注意したい。

また、二〇二三年度は、単語や語句の抜き出し問題の出題はなかった。文章で解答する記述問題は、二〇二一年度・二〇二二年度に引き続き、二〇二三年度も出題がなかった。

その他、文学史の問題が二〇二三年度では二日程で出題された。(古文)

二〇二一年度は、江戸時代の怪談集『百物語』、室町時代の物語集『御伽草子』の「磯崎」、江戸時代の俳人・栗田栲堂の俳文「月夜さうし」、平安時代の長編物語『源氏物語』から出題された。また、二〇二二年度は、平安時代の長編物語『源氏物語』、江戸時代中期の軍記物語『前々太平記』、江戸時代後期の『亮々草紙』、平安時代末期の成立とされる説話集『唐物語』から出題された。両年度ともに、受験生にとってあまり馴染みのない作品からの出題が多く見られた。

二〇二三年度は、平安時代の長編物語『源氏物語』、江戸時代の仮名草子『女郎花物語』、江戸時代の歌集『としなみ草』、平安時代の説話集『今昔物語集』から出題されており、過年度よりは著名な作品からの出題が増えたものの、あまり知名度の高くない古典からの出題もあった。

本文量については、二〇二二年度は、前期A方式両日程が一〇〇〇～一三〇〇字程度、前期B方式・後期が一六〇～一六〇〇字程度であったが、二〇二三年度は、前期A方式・B方式が九〇〇～一二〇〇字程度であり、後期が一七〇〇字程度であった。二〇二二年度は三日程で和歌を含む文章から出題されたが、二〇二三年度で和歌を含む文章から出題されたのは、前期B方式のみであった。設問数は、二〇二一年度・二〇二二年度と大きな違いはなく、七～十二問であった。設問内容は、現代語訳、動作の主語、敬語の種類と敬意の方向、傍線部の内容説明、空欄補充、内容合致などの読解力を測定する設問を中心に、古語の意味、用言・助動詞の文法的知識を問う設問もほとんどの日程で出題されている。また、文学史などの基本的な知識を問う設問も出題されている。

総じて、本文と設問のバランスのとれた出題内容であり、バラ

エティーに富んだ設問構成である。解答するにあたって、余裕がある試験時間とは言えないので、時間配分には十分注意したい。

〈学習対策〉

〈現代文〉

上記の傾向分析からうかがえるように、本文の部分的理解だけでなく、本文全体の内容が把握できているかも問われるのが本試験の特徴である。出題形式に惑わされず、大学側が受験生に求めている学力は、国語力の基盤である「語彙力」と、それを基にした「読解力」であることを押さえておこう。

まず、漢字問題の出題数が多く、必ず出題されるため、日々の学習の中で漢字の書き取り・読み取りの訓練を行う習慣をつけよう。漢字問題の中で意味のわからない語句に出会ったときに、すぐに意味を調べてその言葉を自分のものにできるように、常に手元に辞書を用意しておこう。漢字を使いこなすことができるようになるためには、単に「書ける・読める」だけでは不十分で、意味を把握しておく必要がある。また、慣用表現についても、文章の中で、意味のわからないものに出会ったら、必ず辞書を引いて正しい意味を確認しておこう。このように、「調べて覚える」学習姿勢を意識的に確立することが大切である。こうして語彙力を身につけておくと、語句の空欄補充問題を解く際に役立つだろう。

次に、文章の「読解」では、本文中の論理関係を把握するために、接続語・指示語・構文などの文法を理解しておくことが基本となる。基礎的な問題集や過去問の文章を使って、接続語や指示語によって、文と文、あるいは段落と段落がどのような関係になっているかを意識しながら読む練習を行おう。こうした学習を積み重ねて、文脈を把握する力をつけることができる。

また、問題を解く際、傍線部が本文のどの部分と関連しているのか、あるいは、選択肢のどの部分が本文のどのことと関連しているのかなど、文章と文章の対応関係を常に意識し、それを手がかりにして問題を解いていくことを意識しよう。

〈古文〉

有名でない出典からも出題されることがあるため、古文を正確に読解する力が必要である。また、古語・文法の知識や古典常識などある程度インプットしておかないと、古文の読解は難しい。普段の学習が重要である。

二〇二一年度・二〇二二年度に引き続き、二〇二三年度も和歌に関する設問があった。その対策のため、和歌の読解に不可欠な縁語・枕詞・掛詞などの修辭を、しっかり理解しておこう。また、本文中に引用されている作品や和歌に関連する文学史の問題が出題されることもある。日頃から主要な作品や和歌については、概要を暗記しておくことが望ましい。国語便覧などを手元に置いて活用しよう。

●正確な読解力養成のために

①古語の理解…動詞・形容詞などの用言は、助動詞と組み合わせで現れた場合でもすぐに意味が把握できるようにしよう。また、古語を学習するときは、「現代と意味の異なる語」と「複数の意味を持つ語」の二種類に特に注意する。現代と意味の異なる語については、辞書の意味を確実に暗記しておくことが必須である。複数の意味を持つ語が出題されるときは、文脈に適した意味を選んで答える力が求められる。辞書の意味を丸暗記するのではなく、語の中心的な意味や由来を理解しておき、文脈に応じて判断できるようにしておこう。

②文法的知識の定着…助動詞や助詞の用法、意味・用法の識別などは必出なので、こうした問題で失点しないように、しっかり学習をしておきたい。まず、古典文法の問題集を一冊解いて理解が不十分な苦手分野を明らかにしよう。そして、苦手分野の知識を繰り返し復習して、得点源に変えよう。

●記述対策もしておこう

記述式設問の出題は、二〇二三年度にもなかったが、過去には出題されていた。記述式設問が復活したときに備えて、問題集や参考書で記述式設問にふれておくことが大切である。

そのとき、模範解答の着眼点及び解答作成の手順を確認して、

(出題のねらい)

前期A方式(1/29・30)・前期B方式・後期、いずれも国語の基礎学力を試す問題です。解答方法に記述式はありません。

現代文では、漢字問題(文脈に合致する語彙として適切な漢字を問うもの、読み方を問うもの)や、語句問題(文脈に合致する適切な接続詞や漢字熟語などを問うもの、語句の意味を問うもの)など、基本的な語彙力を試す問題を多く出しています。これは、様々なテーマや文体の文章に接するなど、日頃から言葉に関する感覚を磨いているかどうかを重視しているということです。

それとともに、これらの問題の多くは、単に語彙についての知識を持っていれば解答できるというのではなく、漢字や語句の置かれている文脈を正確に読み取り、文脈に即したものを選ぶかどうかを試しています。文脈を正確に把握する力は、大学入学後に各学部・学科で学ぶ上でも、また、あらゆる場で他者とコミュニケーションを取る上でも必要になる基礎学力です。それゆえ、文脈把握力(読解力)は特に比重を大きくしています。限られた時間の中で瞬時に判断して解答できるように、語彙力を身に付けることに加えて、文と文との関係や、段落相互の関係、呼応している言葉などを、意識的に把握しながら文章を読む癖を付けておくことが肝要です。

古文でも、文法、重要古語、文学史、古典常識などの基礎知識を問う問題を多く出しています。そうした知識を身に付けることは、教養を高め、日本文化を理解する基盤になります。どの学部・学科を受験するにしても、現代のような国際化社会においては、語学力を身に付けるだけでなく、足元の日本文化について語ることができるように、より一層、理解を深めておく必要があるでしょう。近現代の主要な作家・作品についての知識も、日本文化の理解に含まれます。現代文の問題でも文学史を出題する所以です。なお基礎知識をまとめたものとして、国語便覧や、「国語総合」「言語文化」の教科書の口絵や付録の図表・年表なども活用してください。

さてこれらの基礎知識は、文脈を把握し、内容を理解するためにも不可欠です。古文は現代語に訳して終わりというものではありません。現代文と同様に、何がどう書かれているのかを理解する必要があります。そこには、現代文に優るとも劣らない多様な世界があります。受験生の皆さんの理解を促すために、内容的にも興味を持てるような文章を問題文として選ぶことに努めてきました。

以下、正答率の低かった箇所を中心に、少し具体的に説明します。

前期A方式(1月29日)

□の現代文は、「世間」と「社会」という言葉の違い、日本の「個人」と欧米のそれとの違いを論じた文章です。設問ごとの正答率は非常に高いか低いかに分かれてきました。主に語彙力に関わる問い(問一から問四)のうち10%余と低かったのは、まず問二のE「シダン」の漢字で、過半数が⑤の「肉弾戦」ではなく③の「談判」を選びました。「指弾」という熟語や、漢字「弾」の「はじく」や「弾丸」という複数の意味を知っていることを求めています。問三のi「あたかも」も聞き慣れない語だったのかもしれませんが、直後の「〜かのようなゲンソウ(正答率98%)が生まれた」の部分から、「まるで」と同じく③の類似の表現だとわかったはず。なお、問五⑤の「葛藤」、問六⑤の「扇動」など、選択肢の内容を理解する際にも語彙力が必要であることは言うまでもありません。問四は、選択肢の漢字熟語自体でやや難しいのは「席卷」くらいでしょう。しかし2問は正答率が一桁でした。空欄□に入れる語を過半数の人が「①具象化」としたのは、「顕在化」に近い面があるからでしょうが、直前の「世間について論じた人がいない」や冒頭の文などから

実際に解答を書いて慣れておこう。

また、中古と近世の文学作品では古文の文体が大きく異なるが、どちらが出題されても戸惑わないように、両方の時代の作品にふれておくとよいだろう。

わかるように、筆者は取り上げられてこなかったことを問題視している。「③対象化」が正解です。□はほとんどの人が「⑤従順」か「①敏感」を選びました。筆者は、欧米の意味の個人が生まれていないうちに流通し日本の実状に合わない「社会」の語を使う「学者や新聞人」と、あまり使わず相変わらず日常会話で「世間」の語を使い続けてきた「一般の人々」を対比して、後者を「鈍感ではなかった」と評価しているのです。換言すると、「学者や新聞人」に当てはまる語を選べばよかったです。問七の読解問題も、半数近くが⑤を選んでいましたが、現状認識の見直しが繰り返し述べられていることや、「ここ」という語を重視すれば、①になります。

□の古文は、『源氏物語』野分巻の一節です。長篇物語ですが、説明文があるので、場面を理解した上で解答できたと思われます。ただし『源氏物語』は生涯に亘って愛読される古典の代表格ですから、入試対策以外の意味でも、粗筋や基本的な人間関係について予備知識を持っておくとよいでしょう。問一は古文重要単語の知識があれば正解できたはずですが、cの「うるはしく」の意味を多くの人が現代語と同じ「⑤美麗で」としていました。「①きちようめん」の意味を覚えておくことに加えて、続く傍線部エの意味を問う問八(正答率8割以上)の選択肢がヒントになります。なお夕霧の人物像を知っていればさらに容易でした。語彙ではほかに、問三の敬意の対象の問題でiやiiiの正答率が低いのですが、話者の誤解、あるいは「まかつ」「〜きこゆ」の理解が不十分だったことが原因でしょうか。これらは敬語の基本です。文法の要点(問二)、主要な陳述(呼応)副詞(問四)、古典常識(問五)、語彙の知識と文脈理解に基づく内容理解の問題(問六、問八、問九)の解答は順当でした。その中で若干正答率の低い問六のキは、説明文の「懸念」もヒントになっています。問七の正答率が一桁だったのは、直前の「騒がしげにはべるめるを」に引かれて⑤「騒々しい」を選んだのでしょうか。後の「騒がしき野分」などからも、この場面での「騒がし」が台風による慌ただしさとわかります。文章全体を踏まえて解答しましょう。

前期A方式(1月30日)

□の現代文は、「誇り」に近い感情の「名誉心」と「虚栄心」の関係を論じ、極限状況という例外を示した上で、「誇り」が「優越感」を伴っていることを論じたものです。同じ漢字を選ぶ問一のA「シュウジンカンシ」を「囚人監視」と思ったのか、9割以上の人が④の「監禁」を選びました。「衆人環視」は社会で流通している熟語です。貪欲に未知の言葉を吸収しようとする姿勢が、入学後にも、ひいては卒業後にも役立つことを覚えておいてください。C「センザイ(潜在)」も半数以上が②「穿鑿・詮索」を選びました。④「沈潜」がやや難しかったでしょうか。問二の□は、後の「(名誉心と虚栄心との)果てしない運動のうちにもだえ苦しむ」から「④足をひきずって(名誉心へ戻る)」が導けるはずですが、他を威圧する意の「③肩をそびやかして」が最多解答でした。問六の啄木の短歌の甲は、「この運動」を詠んだ例歌で⑦が正解ですが、③が最多。③は乙の「他人を見る眼」の例です。短歌を見て難しいと思っても、落ちて③の歌中の「わが友」に注目すれば、「他人」を詠んだものとわかったはず。問七の文学史は、特に①の正岡子規の主義主張が基礎知識です。浪漫主義ではありません。問八の読解問題は、③や①が正解の②を上回りました。三つとも読点の上と下それぞれは本文で述べられていることですが、②の「人間が一方で理性的存在者であることが省みられにくくなっている」は「動物性が前面に出てくる場合」に最も合致しますし、①③は「〜であるため、〜しなければならない」という上下の因果関係が不自然です。

□の古文は、仮名草子『女郎花物語』の末尾の文章(跋文)です。概して正答率が高かったのですが、問三の文学史の問題は、正解

総合型選抜
公募型学校推薦選抜
英 公募型学校推薦選抜 語
数 公募型学校推薦選抜 学
生 公募型学校推薦選抜 物
化 公募型学校推薦選抜 学
国 公募型学校推薦選抜 語
一般選抜
一般選抜英語
一般選抜日本史
一般選抜世界史
一般選抜生物
一般選抜化学
一般選抜数学
一般選抜国語
音楽実技

総合型選抜
公募型学校推薦選抜
英 公募型学校推薦選抜 語
数 公募型学校推薦選抜 学
生 公募型学校推薦選抜 物
化 公募型学校推薦選抜 学
国 公募型学校推薦選抜 語
一般選抜
一般選抜英語
一般選抜日本史
一般選抜世界史
一般選抜生物
一般選抜化学
一般選抜数学
一般選抜国語
音楽実技

の「④狭衣物語」よりも「③栄花物語」を選んだ人が多くいました。『狭衣物語』は『源氏物語』以後の後期物語の代表ですし、『栄花物語』の「ジャンル」が作り物語(伝奇物語)ではなく『大鏡』と同じ歴史物語であることは基礎知識です。問六のア「国のあやしきことになんする」の現代語訳は、「⑤国家にとって異常事態だとする」が正解ですが、過半数の人が「①国中の人々が不思議なことだとする」を選んでいました。古語の「あやし」=「不思議だ」「卑しい」という知識があるだけでは不十分です。直後に、女性の言い過ぎ、でしゃばりは非難されるとあることから正解を導いてください。なお「牝鶏晨(ひんけいあした)す」という熟語を知っていれば、さらに容易な問いだったでしょう。

前期B方式(1月31日)

Iの必答問題の現代文は、三島由紀夫の『古典文学読本』所収の二つの文章からの抜粋です。選択問題で現代文を選んだ人にも古典に触れてもらえるよう出題しました。問一のF「ケンオ(嫌悪)」の正解者が5人に1人なのは、②「嫌疑」③「陰悪」⑤「権門」など選択肢の熟語の漢字が咄嗟に浮かばなかったのかもしれませんが。問三の㊦は正答率5.3%。㊦の前後の「そのむずかしさが、なおのこと」「～を挑発した」や、少し後の「老成ぶった少年」から導けるのは、正解③「虚栄心」(見えを張ろうとする心)です。「①充足感」や「④向学心」は、「むずかしさ」とは結びついて、「挑発」「老成ぶる」とは結びつきません。㊦の選択肢の五つや、問八⑤の末尾の「瑕疵」なども、意味を知っておいてほしい熟語です。問五の文学史の正答率は、共に30%前後と低めでした。日本の代表的な作家・作品についての知識は国際人としても不可欠であることを、繰り返し述べておきます。

IIの選択問題の現代文は、健康とは何かについて論じたものです。概して正答率が高かったのですが、問三㊧と㊨は30%を切りました。㊧については直後の「帰結」、㊨は選択肢の正解③の「究極」がやや難しかったのかもしれませんが、熟語は文脈の中でどのように使われるかを含めて理解しておきましょう。問七の文章を入れる位置は、9割近い人が間違っていました。「まさに『独立の生きものとして』人間をハイジャックし」とあることから、入るのは「独立の生きもの」や「ハイジャック」の初出よりは後、つまり③以降です。③の前の文章と、後の「要するに」以下は、フロイトの考えの説明として間断なく繋がりますが、④の前はフロイトの病に身を任せてしまうことへの抵抗、後も同様の考え方なので、「しかし」が浮いています。この直前の④に当該の「治りたくない患者」がいるという文章を入れると、自然な流れになります。なお接続詞は、文脈把握のためだけでなく、入学後に自ら文章を書く際に

も必要なものなので、毎回のように出題しています。

Ⅲの選択問題の古文は、江戸時代中期の歌人である以雲法師の歌集『としなみ草』から、京に住んでいた時に、大雨の中、今は亡き友人光富と嵐山の桜狩(花見)をした思い出を綴り、その時の和歌を挙げた箇所を引きました。受験生の皆さんが主要古語や文法の学習をしてきたことに加えて、興味深い内容で作者の心理にも寄り添いやすかったためか、正答率が概して大変高かったです。ただし問三のc「言ひもあへぬに」の主語だけは、正答率が約20%でした。直後の(C)の和歌を詠んだのが光富宅を訪れた作者だと8割以上の人が理解していることから、正答率の低さは「～もあへず」をよく知らなかったことが原因と考えられます。単語だけでなく主な連語を、内容理解の近道として、ぜひ覚えておいてください。なお問七の掛詞の問題も、正答率8割以上でした。和歌の技巧の問題は、今後も出す予定です。

後期(3月8日)

㊦の現代文は、オーストラリア先住民の歴史実践をもとに、従来の歴史学の在り方を見直し止揚するクロス・カルチャライジング・ヒストリーを提唱する文章です。問一の漢字はB「カンゲン(換言)すると」、C「ムジンソウ(無尽蔵)」が正答率20%前後。問二の空欄補充のb「ひとえに」、d「たとえば」が30%前後と低めでした。「たとえば」以外は、語彙の知識不足が原因でしょうか。他の語彙力の問題は問四なども約半数以上の人が正解していましたが、文脈把握は問五の40%余を除き、問六以下いずれも30%前後でした。受験生にとって筆者の主張を読み取るのが難しい文章だったということになります。普段あまり考えないテーマであり、聞き慣れない専門用語が多用されていることや、長い文が含まれることが一因でしょう。入学後に備える意味でも、過去の入試問題集を含め、様々な文章に慣れ親しんでおいてください。

㊦の古文は、『今昔物語集』巻四所収の説話です。本朝部以外の説話にも触れてもらうために、天竺部から出しました。登場人物の関係や話の展開がわかりやすいためか、正答率は概して高かったです。やや低めだった箇所について言うと、問一の二は、「たとひ」が「たとへ」と同じなので、「⑦ども」と呼応します。問四のC「大王、この羅漢を請じて、申し給はく」の「申し」の敬意は、会話文以外なので、「⑥大王から」ではなく「④語り手から」です。問五の1「用ゐるべからず」は、目的語が「④旨」なので、「①使用」ではなく「④採用」です。いずれも、やはり基礎知識と文脈理解が肝要です。問七の文学史は、『落窪物語』が継母に迫害された姫君の物語であることや、『源氏物語』の光源氏にとって弘徽殿女御は継母であることなど、代表的な物語の例から判断できたはずで

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。解答番号は 1 ～ 23 。

この百年の間わが国においても社会科学が発展してきたが、驚いたことにこのように重要な世間という言葉を分析した人はほとんどいない。私達は学校教育の中で西欧の社会という言葉を学び、その言葉で文章を綴り、学問を論じてきた。しかし文章の中で扱わないことを会話と行動においては常に意識してきたのであって、わが国の学問が日常会話の言葉を無視した結果がここにある。

a 世間は、学者の言葉を使えば「非言語系の知」のシチュエーションであって、これまで世間について論じた人がいないのは、「非言語系の知」を顕在化する必要がなかったからである。しかし今私達は、この「非言語系の知」を顕在化し、しなければならぬ段階にきている。そこから世間のもつ負の側面と、正の側面の両方が見えてくるはずである。世間という「非言語系の知」を顕在化することによって新しい社会関係を生み出す可能性もある。

明治十年(一八七七)頃に「非言語系の知」の訳語として社会という言葉がつけられた。そして同十七年頃に「individual」の訳語として個人という言葉がつけられた。それ以前にはわが国には社会という言葉も個人という言葉もなかったことである。b わが国にはそれ以前には、現在のような意味の社会という概念も個人という概念もなかったことを意味している。では現在の社会に当る言葉がなかったのかと問えばそうではない。世の中、世、世間という言葉があり、時代によって意味は異なるが、時には現在の社会に近い意味で用いられることもあったのである。

明治以降社会という言葉が通用するようになってから、私達は本来欧米でつくられたこの言葉を使ってわが国のゲンシンソウを説明するようになり、c その概念が本来もっていた意味とわが国の実状との間の乖離が無視される傾向が出てきたのである。

欧米の社会という言葉は本来個人がつくる社会を意味しており、個人が前提であった。しかしわが国では個人という概念は訳語としてできたものの、その内容は欧米の個人とは似ても似つかないものであった。欧米の意味での個人が生まれていないのに社会という言葉が通用するようになってから、少なくとも文章のうえではあたかも欧米流の社会があるかのようなゲンシンソウが生まれたのである。d 大学や新聞などのマスコミにおいて社会という言葉が一般的に用いられるようになり、わが国における社会の未成熟あるいは特殊なあり方が覆い隠されるという事態になったのである。e 学者や新聞人を別にすれば、一般の人々はそれほど社会という言葉を使わず、日常会話の世界では相変わらず世間という言葉を使っていたのである。

この点については特に知識人に責任がある。知識人の多くはわが国の現状分析をする中で常に欧米と比較し、欧米諸国に比べてわが国が遅れていると論じてきた。遅れているという判断の背後には、遅れを取り戻せよという見通しがあればならない。多くの知識人はそのような見通しをいままに遅れについて論じてきたのである。たとえばカントの「啓蒙とは何か」という書物の中で、上官の命令が間違っていた場合に部下のとるべき態度が論じられている。上官の命令が間違っていると考えた場合でも、部下はその命令に従わなければならない。f 軍隊は成立しないからである。しかし軍務が終了したとき、その部下は上官の命令の誤りを論じて論議することができるとカントはいう。そしてその場合彼は自分の理性を公的に使用しているのだというのである。日本の事情を考えてみよう。ある会社員が会社のケイタイやその他に不正を発見して、それを公的な場でシガタケた場合、彼は間違いなく首になるであろう。そしてもしそのことが公的に論じられるようなことが起こった場合、彼の行動が公的な理性に基づくものだという者が日本に

いるだろうか。このカントの言葉を引用して日本の社会の遅れを説く論者は今でもあつと絶たない。しかし問題はここからはじまるのであって、こういう状態からわが国は遅れているといつてみたところで何もいっていないに等しいのである。このように考えてくると、問題の一つは、わが国においては個人はどの程度まで自分の行動の責任をとる必要があるのかという問題であることが明らかになる。それはいいかえれば世間の中で個人はどのような位置をもっているのかという問いでもある。以下においては世間や世の中という言葉がどのように用いられてきたのかを考察し、その中で個人の生き方についても考えてみたい。私

A1 (国)

A1 (国)

達は西欧の歴史からよりも、自分達の過去から学ぶべきことが多いからである。日本の個人は、世間向きの顔や発言と自分の内面の想いを区別してふるまい、そのような関係の中で個人の外面と内面の双方が形成されているのである。X 世間は人間関係の世界である限りでかなり曖昧なものであり、その曖昧なものとの関係の中で自己を形成せざるをえない日本の個人は、欧米人からみると、曖昧な存在として見えるのである。ここに絶対的な神との関係の中で自己を形成することからはじまったヨーロッパの個人との違いがある。わが国には人権という言葉はあるが、その実はずいぶん限られていて、個人々の真の意味の人権が守られているとはトウテイいえない状況である。こうした状況も世間という枠の中で、は されてきたのである。(阿部謹也「世間とは何か」による)

A1 (国)

問一 線部分A～Fの漢字と同じ漢字を含むものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は 1 ～ 6 。

- A シュウセキ
- ① 会社内でジウウセキを果した。
 - ② 反対意見をハイセキする。
 - ③ 別れに臨んでセキベツの情を禁じ得ない。
 - ④ 事件現場に犯罪のコンセキが残っている。
 - ⑤ セキソンの恨みを晴らす。

- B ゲンシンソウ
- ① 停戦コウショウを行う。
 - ② 撮影したフィルムをゲンソウする。
 - ③ ワクチン接種をショウレイする。
 - ④ アフリカ大陸のコートジボワールにあるゾウゲ海岸。
 - ⑤ ナポレオンのショウゾウ画を展示する。

- C ゲンソウ
- ① もう恋人に会わないというゲンチを取られた。
 - ② 父が死んだことはレイゲンなる事実である。
 - ③ ゲンチヨウなのか。死した赤子の泣き声が聞こえた。
 - ④ 余計な発言をして先生のキゲンを損ねてしまった。
 - ⑤ 知事選挙でゲンシヨクの知事が再選された。

A1 (国)

問七 線部2「問題はここからはじまる」とありますが、どういうことですか。筆者の考えを述べたものとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は 22。

- ① 欧米諸国に比べてわが国が遅れているというだけでは解決にならないので、欧米諸国とは異なるわが国の実状を考える必要があるということ。
② 「世間」という言葉は曖昧なものであるから、個人の権利がもつ外面の意味と真の意味との違いを考える必要があるということ。
③ 欧米諸国に対するわが国の遅れを取り戻すために、「世間」や「世の中」という言葉がどのように用いられてきたかを考察する中で個人の生き方を考える必要があるということ。
④ 先進的な欧米諸国を見習い、所属する組織の中で身の処し方において、個人がどこまで自分の行動に責任を負うのかを考える必要があるということ。
⑤ 「社会」という言葉が流通する以前のわが国において、個人が世の中でのような位置をもっていたかを知り、そこから学ぶ必要があるということ。

問八 筆者の主張に合致するものとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は 23。

- ① 「世間」との関係の中で生まれたわが国の個人と、絶対的な神との関係の中で自己を形成することから始まったヨーロッパの個人とを比較することは意味がない。
② 「世間」という言葉を使いさえすれば、「社会」という言葉を使うよりも、わが国の実状に合った社会関係がある程度は明確に説明することができる。
③ わが国では明治時代以降「社会」という言葉が一般的に用いられるようになったため、「世間」という「非言語系の知」を用いる必要がなくなった。
④ 自己形成のあり方も歴史や実状も異なっている欧米諸国と比較することによって、わが国の現状が遅れていると論じてみる意味がない。
⑤ 「世間」というものはいずれも「非言語系の知」なのだから、明確に言語化できないものを対象として論じても意味がない。

二 次の文章は、光源氏の息子夕霧(中将)が、野分(台風)の見舞いに光源氏の邸宅である六条院を訪れた場面です。強風のため開いていた戸の隙間から、紫の姿を思いがけず目にした夕霧は、さげなく今到着したふうを装います。一方、光源氏は夕霧が紫の姿を見たのではないかと懸念しています。これを読んで、後の問いに答えなさい。解答番号は 24、42。

今紫れるやうにうち声づくりて、簀子の方に歩み出でたまへれば、一さればよ、あらはなりつらむ」とて、「かの妻戸の聞きたりけるよ」となぞ見答めたまふ。「年ごろかかることのつゆなかりつるを、風こそげに駭き吹き上げつべきものなりけれ、さばかりの御心とを騒がして、めづらしくうれしき目を見つるかな」とおほゆ。人々参りて、「じいかめしう吹きぬべき風にはべり。丑寅の方より吹きはれば、この御前はのどけきなり。馬場の殿、南の釣殿などは、あやふけになむ」とて、とかく事行ひのしるぞ。
「中将はいづこよりものしつるぞ」
「三条の宮にはべりつるぞ、『風いたく吹きぬべ』と、人々の申しつれば、おほつかなきに参りはべりつる。かしこにはまして心細く、風の音をも、今はかへりて若き子のやうに怖ぢたまふれば、心苦しきに、まかではべりなむ」と申したまへば、
「げに、はやまうでたまひぬ。老いもていきて、また若うなること、世にあるまじきことなれど、げにこのみこそあれ」と、御消息聞こえたまふ。

b 道すがらいりもみする風なれど、うるはしくものしたまふ君にて、三条の宮と六条院とに参りて御覽せられたまはぬ日なし。内裏の御物忌などに X 避らず籠りたまふべき日よりかは、忙しき公事、節会などの、暇あるべく事しげきにあはせても、まづこの院に参り、宮より出でたまひければ、まして今日、かかろ空のけしきにより、風のさきにあくがれ歩きたまふもあはれに見ゆ。
a 「いとうれしう頼む」と待ちうけたまひて、
d 「(この)船に、またたく騒がしき野分にこそあはざりつれ」と、ただわななきにわななきたまふ。
「大きな木の枝などの折るる音もいとうたてあり、殿の瓦さへ残るまじく吹き散らすに、かくてもものしたまへること」と、かつはのたまふ。そこらところせかりし御いきはひの静まりて、この君を頼もし人に思したる、常なき世なり。いまでも大方のおほえの薄らきたまふことはなけれど、内裏の殿の御けはひは、なかなか少し疎くぞありける。
中将、夜もすがら荒き風の音にも、すずろにもあはれなり。心にかけて恋しと思ふ人の御事はさしおかれて、ありつる御影の忘れぬを、「こはいかにおほゆる心ぞ、あるまじき思ひもこそ添へ。いと恋しきこと」とみづから思ひ紛はし、他事に思ひ移れど、なほかとおほえつ、「来し方行く末ありがたくものしたまひけるかな、かかろ御仲らひに、いかに東の御方、さるもの数にて立ち並びたまひつらむ、たどしへなかりけりや、あないとほし」とおほゆ。

(光源氏物語に)

- 注1 さばかりの御心とも 慎重で用心深い方々の心。
注2 三条の宮 夕霧の母方の祖母大宮の住居。
注3 かしこ 三条の宮。
注4 内の大殿 内大臣。大宮の息子で、夕霧のおじ。

注5 心にかけて恋しし思ふ人⇨幼なじみの女性、雲居雁。
 注6 御面影⇨紫の上の容貌。
 注7 東の御方⇨光源氏の恋人の一人、花散里。

問一 〰〰線部a～fの意味として最も適当なものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。
 解答番号は 24 29。

a 「おぼつかなぎに」

24

- ① あわてて
 - ② 驚いて
 - ③ 思いがけなく
 - ④ 気がかりで
 - ⑤ まっさきに
- ① 道路全体を
 - ② 通りすがりに
 - ③ 途はずっと
 - ④ 道の上を
 - ⑤ 四辻(よつた)ごと

c 「うるはしく」

26

- ① きちよめんで
- ② 気弱で
- ③ 頑固で
- ④ 大胆で
- ⑤ 美麗で

d 「(こ)の齢に」

27

- ① あなたぐらいの若さでは
- ② (こ)数年の間
- ③ 今年になってから
- ④ この歳になるまで
- ⑤ 長生きすると

e 「うたて」

28

- ① 大げさで
- ② 恐ろしくて
- ③ 激しくて
- ④ 頻繁で
- ⑤ 不快で

f 「たとしへなり」

29

- ① 数えようがない
- ② 比べようがない
- ③ 想像しようがない
- ④ たとえようがない
- ⑤ 忘れようがない

問一 〰〰線部A～Fについて、A「る」と文法的に同じものはどれですか。最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は 30。

- ① B「れ」
- ② C「る」
- ③ D「る」
- ④ E「る」
- ⑤ F「ら」

問三 ……線部ⅰ～ⅳは誰に対する敬意を表していますか。最も適当なものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい(同じ記号を何度選んでもかまいません)。

- ① 大宮に
- ② 内大臣に
- ③ 光源氏に
- ④ 人々に
- ⑤ 夕霧に

問四 〰〰に入る語として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は 35。

- ① X
- ② え
- ③ な
- ④ ゆめゆめ
- ⑤ をさをそ

問五 〰〰線部イ「丑寅の方」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。

解答番号は 36。

- ① 午前三時ごろ
- ② 午後三時ごろ
- ③ 日の出るころ
- ④ 南東の方角
- ⑤ 北東の方角

問六 〰〰線部イ「はやまうでたまひね」、オ「かくてものしたまへ」と、キ「あるまじき思ひ(おぼ)を添へ」の現代語訳として最も適当なものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。

解答番号はイが 37、オが 38、キが 39。

- ① 明るいうちにお訪ね申し上げなさい。
- ② 急いで参上なさい。
- ③ すぐに戻っていらっしやい。
- ④ 突然訪問なさってはいけない。
- ⑤ なるべく早くお連れ申し上げなさい。

総合型選抜
公募型学校推薦選抜
英 公募型学校推薦選抜
数 公募型学校推薦選抜
生 公募型学校推薦選抜
化 公募型学校推薦選抜
国 公募型学校推薦選抜
語
一般選抜
一般選抜英語
一般選抜日本語
一般選抜世界史
一般選抜生物
一般選抜化学
一般選抜数学
一般選抜国語
音楽実技

オ 「かくてものしたまへること」

- ① こうして見舞いにおいでくだらうことよ
- ② このように独りで暮らしていらっしやることよ
- ③ これでもう安心して過ごしていただくことよ
- ④ これほど頑丈にお建てになった建物だったことよ
- ⑤ こんなに無事でいらっしやうことよ

キ 「あるまじき思ひも」

- ① あってはならないことを望むようになるけれど
- ② ありえないことを心配するようになると大変だ
- ③ 思い出しはならないが増えるをやっかいだ
- ④ 禁じられた恋心を抱くことになってはいけない
- ⑤ 二人の女性を恋慕するような気持ちが生じると困る

問七 線部ウ「思ひたまへ譲りてなむ」と光源氏が手紙に書いたのはなぜですか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **40**。

- ① 忙しいので、ちょうど訪ねて来た夕霧を見舞いに行かせたいと思ったから。
- ② 前に控えている夕霧を使いに出すだけでは、不十分だと思ったから。
- ③ 孫の夕霧を見舞いに行かせるほうが、喜んでもらえるだろうと思ったから。
- ④ 見舞いは夕霧が務めるので、自分が行かなくても安心だと思ったから。
- ⑤ 夕霧と自分の二人が見舞いに訪れると、騒々しいことになると思ったから。

問八 線部エ「三条の宮と六条院とに参りて御覽せられたまはぬ日なし」とはどういうことですか。最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **41**。

- ① 夕霧は一日も欠かさず、大宮と光源氏に対面するよう求められていること。
- ② 夕霧は大宮と光源氏から、すばらしい若君だと毎度思われていること。
- ③ 夕霧は大宮を見舞った後、必ず光源氏の所へ参上しなければならないこと。
- ④ 夕霧は毎日まめまめしく、大宮と光源氏に顔を見せ、いるということ。
- ⑤ 夕霧は命じられたとおり、すぐに光源氏の所から大宮の屋敷に戻ったこと。

問九 線部カ「なかなか少し疎くそあけり」とはどういうことですか。最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **42**。

- ① 内大臣と大宮は実の親子であるが、意外なことに昔から相当にこじれた関係であること。
- ② 内大臣と夕霧は親子でありながら、別の屋敷に暮らしていて普段から仲がよくないこと。
- ③ 内大臣は大宮から見ても悪かしく、むしる孫の夕霧を頼りにしていること。
- ④ 内大臣は大宮の息子でありながら、夕霧と比べて大宮とはよそよそしい関係であること。
- ⑤ 内大臣は年老いて勢力にかけりが見える母大宮を、以前よりおろそかに扱っていること。

(国語問題 おわり)

一般選抜英語
一般選抜日本語
一般選抜世界史
一般選抜生物
一般選抜化学
一般選抜数学
一般選抜国語
音楽実技

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。解答番号は **1** ～ **25**。

「誇り」に近い感情として「名譽心」がある。両者をほぼ同じ意味で使うこともあるが、名譽心のほうがより社会的賞賛を求める態度であり、その分、他人に **い** 度合いが高い。名譽心が自らの固有の規準を捨てて完全に他人の規準に隷属するとき、それは衰弱した・虚しい・ **ろ** 名譽心として「虚榮心」と呼ばれる。M・シェラーは「名譽(Würde)」と「虚榮心(Ehrgeiz)」について次のように語っている。

厳密に個人的な名譽というものは存在しない。名譽はつねに一定の社会的カテゴリーの見本としての意味をわれわれに対して持つ。

名譽を感じることに――それは周囲の世界の評価の眼によって自分自身を見ることがである。しかし自分の自覚した価値カテゴリーにしがたがって見ることである。さもなければそれは「虚榮心」にはかならない。(羞恥と名譽心)「シェラー著作集15」 浜田義文訳、白水社)

名譽心が「自分の自覚した価値カテゴリーにしたがって見ること」をやめるとき、すなわち **X** ととき、それは虚榮心に変質する。とはいえ、両者の境界は揺れ動いている。名譽心の強い人は、それがいつしか虚榮心のほうへ傾くことに気づき、はっとして **は** 名譽心へ戻る、しかしふたたび虚榮心はうなり声を上げて名譽心を呑み込む……という果てしない運動のうちにもたえ苦しむ。石川啄木はそんな男であったろう。「握の砂」より、いくつか拾ってみる。

甲

非凡なる人のごとくふるまへる
後のさびしさは
何にかたくへむ

この運動は、しらすしらず他人を見る眼にも及んでいく。

乙

誰が見てもとりどころなき男来て
威張りて帰らぬ
かなしくもあるか

a、視点を転じてみるに、われわれはいさかも優越感の混じらない誇りを唯一つの場合に限って認めなくてはならない。それは、まさに人間としての極限の痛みに叫んでいる人の口から吐き出された「誇り」という言葉である。アウシュヴィッツで絶望的な思いで日々を過ごす人々は、人間としての誇りを失いかけていた。誇りは、そういう極限状況においては、きわめてはつきりとした像を結ぶ。

九年前の夏、アウシュヴィッツ(そのビルケナウという地区)に行つたとき、私は^{アウシュヴィッツ}を改造したある収容所の中で文字通りの嘔吐感を覚えた。その細長い建物の周囲には何段にもなつた「殺台」があつて、その中央に穴の開いたコンクリートの長い「トイレ」がある。そのメートルほどの高さの突き出しのトイレでシユウジンカンシのもと――もつとも **b** 誰も見ようとはしないが――人々は用を足すのだ。「仕事」から帰ってくる、もはやこえられない人の長

い列ができ、用を足している者を墮落として穴にしゃがむのだという。その臭気は凄まじかったであろうし、その光景は悲惨であったであろう。それが、毎日続いた。こういう場合「人間としての誇り」という言葉がふっと口をついてくる。そして、その意味はきわめて明瞭なのだ。そこには、優越感や高慢の片鱗もないのだ。

注3 カントは自他のうちにある「人間性 (Menschheit)」を尊敬せよと言う。それは、まさに人間の動物的側面を含めた理性的存在者としての人間をそのまま尊敬せよということである。理性的存在者である側面の人間を尊敬せよという意味ではなく、理性的存在者でありかつ動物であるような、きわめて居心地の悪い人間存在を尊敬せよということである。だから、ビルケナウで私がショックを受けたように、¹排他と性交といった動物性が前面に出てくる場合にこそ、「人間としての誇り」に対する配慮が必要なのだ。誇りは、こういう場合のみ純粋である。すなわち、あらゆる優越感や高慢とは遠く離れた純粋な肯定的感情として認められる。

この場合のみ「誇り」はそのうちにいかなる優越感も混じっていないという意味で、いかなる優越感をも抱く余裕がないという意味で、「純粋」である。問題は、こういう場合でないのに、誇りが完全なプラスの価値として語られる場合である。それは「誇り」という言葉を使いながら、じつのところ他人との比較による優越感にはかからない。c 日本人が西洋人から軽蔑されたときに、「日本人としての誇り」という言葉がふっと口をついてくるにせよ、それは、われわれは西洋人とゴカク^Bなのだ^Bという意識を支えられており、d 他のアジア・アフリカ人とは違うのだという意識さえうごめいていく。(中略) 武士としての誇り、旗本としての誇り、江戸っ子としての誇りなど、誇りという言葉が使われる場合を反省してみると、すべてが(少なくとも)センザイ的な^C 下位の他者に対する優越感に基づいていることがわかる。

こうして、アウシュヴィッツのような極限状況を除き、何事かを誇りに思う人は高慢や優越感に浸りながらそれを押し隠しているか、それと無縁であるかと思ひ込む。に かのどちらかである。

現代日本社会に眼を移すと、われわれは社会的なプラスの価値に基づいて誇ることはほとんどなくなっていることに気づく。有名大卒であることを誇るとか、大会社の重役であることを誇るとか、旧華族の家柄であることを誇る、……という言い方

はガム^Dではないが、いずれも厭い世間のケンエツ^Eにかかると、高慢、尊大という非難を回避するのは難しい。面白ことに、社会的プラスの価値に基づいた誇りは相当注意しなければ、この国では。は ば。しかし、この現象と呼応するように、現代日本では社会的なマイナスの価値を誇る言葉が津々浦々にまで響き渡っている。「私は、義務教育しか受けていない、でもまじめで実直な職人としての父親を誇りに思います」とか「俺は、美人ではなく教養もないけれど、女手一つで俺を育ててくれた母親を誇りに思う」という宣言は、なんと時代の風になまく乗っていることであろうか。人の耳に心地よく響き、誰からも非難どころか幾重もの優しいまなごに包まれて、なんと安泰であることだろうか。だから、人々はこういう文脈で誇りを語り続けるのである。

注4 向田邦子^Fは、外では上役にハイシンドイトウしながら家庭では威張りくさり、しかしその家族愛が伝わってくる父親を誇りに思っている。一見、駄目男に見えながらも、不器用な形で家族に愛情を注ぎ続ける父親をもっていることに誇りを覚えているのである。藤沢周平^Gもまた、下級武士や町人など名もない実直な人々を描き続ける。彼らは、みずからの生き方の「美しさ」を誇りに思っている。

私は、e こういう「マイナスの誇り」が好きになれない。その背後に、現代の世に受け入れられることを正確に計算している功利的精神を見通してしまうからだ。その同じ人が、学歴や家柄などに基づく社会的にプラスの誇り、陽の当たる場所にいる人の誇りに対しては容赦なく冷たい視線を注ぐ。

たとえマイナスの誇りでも、じつのところ強烈な優越感を伴っている。幾分不器用で、実直で、「美しい」人生を歩んでいない人は、たとえいかに社会的に成功しても、何を外形的に獲得しても、人間として劣っている、という確固たる価値観に基づく通奏低音がそこに響いているのだから。

(中略)「差別感情の哲学」による)

- 注1 M・シェーラー＝マックス・シェーラー(一八七四年～一九二八年)。ドイツの哲学者・社会学者。
- 注2 アウシュヴィッツ＝第二次世界大戦(一九三九年～一九四五年)中、ナチス・ドイツが占領地であるポーランド南部に設置した強制収容所。ユダヤ人などに対する大量虐殺が組織的に行われた。
- 注3 カント＝イマヌエル・カント(一七二四年～一八〇四年)。ドイツの哲学者。
- 注4 向田邦子＝日本の小説家・脚本家・エッセイスト(一九二九年～一九八一年)。問題文に触れられるのは、その代表的エッセイ「父の詫び状」(一九七八年)。
- 注5 藤沢周平＝日本の小説家(一九二七年～一九九七年)。時代小説を得意とした。

問一 線部A～Fの漢字と同じ漢字を含むものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は 1 ～ 6。

A シュジンカンシ

1

- ① 中国の古美術品をカンテイする。
- ② 甚大な事故から危機一髪セイカンした。
- ③ ジュンカン型社会実現への挑戦。
- ④ 座敷牢に長期間カンキンされる。
- ⑤ 大人の言動の矛盾をカンバする。

B ゴカク

2

- ① 入学後めきめきトウカクを現す。
- ② チカク変動による標高の変化。
- ③ 京都市のガイカク団体に就職した。
- ④ カクシキの高い家柄にふさわしい。
- ⑤ イカク射撃によって警告する。

C センザイ

3

- ① センバクな知識による誤った理解。
- ② 理由を深くセンサクするには及ばない。
- ③ 幼時にカトリックのセンレイを受けた。
- ④ 毎晩深夜になると詩作にチンセンする。
- ⑤ 友人たちのセンボウの的となる。

総合型選抜
公募型学校推薦選抜
英語
数
学
生
物
化
学
国
語
一般選抜
一般選抜英語
一般選抜日本史
一般選抜世界史
一般選抜生物
一般選抜化学
一般選抜数学
一般選抜国語
音楽実技

問七 歌集「二握の砂」の作者である石川啄木は、初め「明星」誌上でその文学的才能を認められました。当時浪漫主義文学の中心となった同誌で活動した詩人や歌人として適当ではない人物を、次の①～⑤の中から一人選び、マークしなさい。解答番号は **22**。

① 正岡子規 ② 与謝野鉄幹 ③ 高村光太郎 ④ 与謝野晶子 ⑤ 北原白秋

問八 線部1「排遣とか性交といった動物性が前面に出てくる場合にこそ、「人間としての誇り」に対する配慮が必要なのだ」と筆者が考えるのはなぜですか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **23**。

- ① このような場合には、人々に受け入れられることを意識しつつ巧妙に隠蔽された優越感がかけられないため、きわめて居心地の悪い人間存在に敬意を払う必要が生じるから。
- ② このような場合には、人間が一方で理性的存在者であることが省みられにくくなっているが、当然それも合わせた人間存在をそのまま尊重しなければならないから。
- ③ このような場合には、誇りが完全なアラスの価値として語られるべき極限状態であるため、カントが言うように自他の「人間性」を尊敬しなければならぬから。
- ④ このような場合には、人間もまた動物であるという側面が過剰に強調されることになるが、逆に「純粋」な誇りを見直すきっかけを重視しなければならないから。
- ⑤ このような場合には、人間が本来もつ動物に対する優位性が強制的に放棄させられるため、理性的存在者たる人間の尊厳をとり戻すための気遣いが求められるから。

問九 線部2「時代の風」とはどのような風潮を意味していますか。最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **24**。

- ① 社会的成功者の心に隠された高慢や尊大をあげつらつて注目を集めようとする風潮。
- ② 自らを卑下しているように見せながら実は隠された誇りを表現しようとする風潮。
- ③ 社会的にプラスの価値を誇ることに厳しく、逆にマイナスの価値に優しい風潮。
- ④ 優しいまなざしに包まれた世界で、人の学歴や容貌などを問題としない風潮。
- ⑤ 社会的成功を拒んで、家族を尊敬し職業的倫理観を重視しようとする風潮。

問十 問題文における「誇り」について、筆者の考えとして適当ではないものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **25**。

① アウンユウイツツにおける「人間としての誇り」と、藤沢周平の描く「下級武士の誇り」とはまったくの別物である。それは後者が、実直さや自らの生き方の「美しさ」についての優越感という、他者との比較に基づく感情を含みもつからである。

② 「誇り」は、自らよりも劣った対象との比較による優越感が前提となる以上、世間からはその高慢や尊大さを批判されて認められないことになりかねず、何らかのマイナスの価値を誇らない限りは、完全なアラスの価値として語ることができない。

③ 「誇り」は「社会的賞賛を求める」「名誉心」に近いところがあり、他者に対する優越感や高慢が抜きがたくつきまとうものであるが、アウンユウイツツのような「人間性」を否定される極限状態においてはのみは、純粋なものであると存在する。

④ 「〇〇としての誇り」と言う時、通常は〇〇以外の他者に対する優越感が前提となるものだが、時には〇〇という属性が普遍的に有するとは限らない価値観を持ちだすことによって、世間に受け入れられることを目論んでいるように見える場合がある。

⑤ 「マイナスの誇り」にせよ「プラスの誇り」にせよ、そこに何らかの価値観に基づき他者への優越感が存在していることに変わりはなく、前者は、彼岸という世間からの非難を回避しつつ、実のところその感情を隠匿したり、ないと思いつ込んでいたりしている。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。解答番号は **26**、**41**。

里中に鳴くなる鶏トリも、「雌鶏メトリの喉ノドとなふるは、^A「国のあやしきことにならず」と言へり。すべて、「女のあまりにも言ひ、さいまくるは種タネきもの」とか言ひ置おききつるためしはづかしけれど、さすがに思おもひながらの橋ハシ柱ハしら、心の内にて朽くち果はてぬべべきわざしにもあじかし。

^aいはけなき詞ことばこもりのほどより、たちねの親のいさめに、^b離遊りゆうびの調度てうどにも、ただ歌草紙うたぐさじのみもて遊び、生なまひさきこもれる窓まどの中なかにて、これをまなふよりほかのことなかりしかば、今いまあだ波なみの寄る辺よりのへに品定しんぢやうぢやうまりて、海布うみふ刈り塩しほ焼やきいとまなき世よのことわざのみまひまにも、人の世に茶ちやの柄えいをだに朽くたすと云ふめる春はる・夏なつなどにはさして心こゝろもゆかず、あるは更さらけゆく月つきに向かひても、灯火てんかを挑たくげ尽くしても、書き写かきし、読み試よみみるより他ほかなるすさびもはべらぬに、このころある人のもとより借かり出でてにける女郎花ぢやうらうがといふ草紙くさじは、源氏げんじなどやうに名高なきものとは聞きこえぬと、古ふるき女の歌うた、さならぬ言ことの葉はをも書き連つねつ、ひとへに我がとらの女の童わらわに戒かえりめを垂たれきこえつる、いづれの御時ごとき、いかなる人の作りたまへるといふことも知りなべらぬと、ただそのことわりのあはれにめぐらしかにおぼえければ、例たとひ、写かしとごめんとはべるに、その本ほん、あやしき手にて書きにたれば、ただ浦千鳥うらちづるの跡あととのみ見えて、浜はまの真砂まじ読み知るべくもあらぬ所ところ半はんば過ぎてはべるに、他ほか本ほんをも求めましかば、期またへあらためでもありなましを、また類るいをもさしあたりては得えまじかりければ、「よし」ともかくもあれ、この草紙くさじの趣おもにだに違ちがはずは、さばかりの答こたへあるべきにもあらじ」と、はけなき女のひとへに、心こゝろに、思おもひ取りて、かの見集みあめ置きつるものの中より、なほ目めとむべかりけることをも、秋野あきのの虫むしと選び取りて、木き々の落葉らくはつと書き混まじへはべりし。

もろこの列女れつにょ伝でんも、後のちの人ひと書き添そへつ。この国の伊勢物語いせものがたりも、伊勢いせの御ごの筆加ひしへつる、その類るいもあまたはるにや。かくそこはく書き加へたる中の一言ひとことにても、心こゝろあらん人の目めとまる節ふしはべりて、この草紙くさじ作りたまひしつ、人の本ほん意い先まはぬやうもはべりぬかし。我がかくもの言ことひさかなきに似たる罪つみ少し軽かろめはべらんとよ、^c **Y** たなばたのころ、^d 梶かぢの葉はになぞ

らへてすするに書き散らしつ。

〔女郎花物語〕による

- 注1 さいまくる Ⅱでしゃばる。
- 注2 ながらの橋柱 Ⅱ長柄の橋の橋脚。古くて壊れたものたど。
- 注3 あだ波の寄る辺に品定まり Ⅱ結婚すること。
- 注4 斧の柄をたに朽たす Ⅱ長い時間が経過する。
- 注5 跡 Ⅱ足跡。鳥の足跡は筆跡にたとえられる。
- 注6 勘へ Ⅱ文章を比べて考える。
- 注7 かい思ひ取りて Ⅱ「かい」は意味を強め、語調を整える接頭語。
- 注8 秋野の虫と選り取りて Ⅱ虫を捕まえるように選り採って。
- 注9 木々の落葉 Ⅱかき集めることたとえ。
- 注10 列女伝 Ⅱ前漢時代に編まれた、女性の伝記を集めた書物。
- 注11 伊勢の御 Ⅱ平安時代前期の歌人。
- 注12 梶の葉 Ⅱ葉に和歌を書いて星に手向ける風習があった。

問一 線部 a、f の意味として最も適当なものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。

解答番号は 26、31。

- a 「いはけなき」
- ① 生まれる前の
 - ② 幼い
 - ③ かわいらしい
 - ④ 分別のない
 - ⑤ 物心のついた
- b 「心もゆかず」
- ① 落ち着かず
 - ② 気がつかず
 - ③ 熱中せず
 - ④ 満足せず
 - ⑤ 理解せず
- c 「ことわり」
- ① 拒絶
 - ② 裁定
 - ③ 詞章
 - ④ 道理
 - ⑤ 理由

d 「あやしき手」

- ① 下賤な者の手書き
- ② 質の悪い安物の筆
- ③ 誰かわからない筆跡
- ④ 無気味な字体
- ⑤ 見苦しい下手な文字

e 「そこばく」

- ① あちこち
- ② こっそり
- ③ たくさん
- ④ 何となく
- ⑤ 引き続き

f 「すずるに」

- ① 一所懸命に
- ② 思う存分に
- ③ 敬虔な気持ちで
- ④ 人のまねをして
- ⑤ むやみやたらに

問二 線部 A、F について、E「ね」と文法的に同じものはどれですか。最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は 32。

問三 線部 X には、「源氏物語」の影響を受け、平安時代の後期に書かれた同じジャンルの作品の名前が入ります。

問四 線部 Y に入る語として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は 34。

問五 ……線部 i、v のうち、この文を書いた人物を指しているのはどれですか。最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は 35。

問六 線部ア「国のあやしきことになんする」、ウ「いとまなき世のことわざ」、カ「類をもさしあたりてはえ得まじかりければ」の現代語訳として最も適当なものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。

- 解答番号はアが 36、ウが 37、カが 38。
- ア「国のあやしきことになんする」
- ① 国中の人々が不思議なこととする
 - ② 国に卑しい人が多いこととする
 - ③ 国の名譽を損なうこととする
 - ④ 国民が愚かになる前兆とする
 - ⑤ 国家にとって異常事態とする
- ウ「いとまなき世のことわざ」
- ① i 「ある人」
 - ② ii 「はかなき女」
 - ③ iii 「後の人」
 - ④ iv 「心あらん人」
 - ⑤ v 「もつ人」
- カ「類をもさしあたりてはえ得まじかりければ」
- ① 伊勢物語
 - ② うつは物語
 - ③ 栄花物語
 - ④ 狭衣物語
 - ⑤ 平家物語
- イ「水無月」
- ① 水無月
 - ② 文月
 - ③ 葉月
 - ④ 長月
 - ⑤ 神無月

- ウ 「いとまなき世のことわざ」
- ① 数多くある有意義な格言
 - ② 多忙な日々の生活の用語
 - ③ 頻繁に催される年中行事
 - ④ 毎日書く日々の生活記録
 - ⑤ 全く余裕の無い生活資金

カ 「類をもさしあたりてはえ得まじかりければ」

- ① 同じような趣味の人もさしつかえがあつて見つきりそうにないので
- ② 同じような内容のこれとは別の本も当面は入手出来そうにないので
- ③ 似たような本を持っている人もしばらく見つけられそうにないので
- ④ 似たような筆跡の本も今ではなかなか手に入られそうにないので
- ⑤ 同じような話を集めて比較する機会も当座は得られそうにないので

問七

- 線部イ「思ひながらの橋柱、心の内にて朽ち果てぬべきわざにしもあらじかし」とはどういうことですか。最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **39**。
- ① 言わずに心の中にごめて思い続けていたとしても、そのうち雲散霧消してしまうようなことでもないということ。
 - ② 女の口数が多いのは憎まれることわかつていながら、心の中に秘めて黙っているのは堪えられないということ。
 - ③ 長い間口に出さず思いを暗らさずにいると、心中で積もり積もってやり場のない気分が溜ってしまうということ。
 - ④ 長柄の橋柱はいつまでもこの世にあり続けるが、黙した人の思いは死んでしまえばなくなってしまうということ。
 - ⑤ 古くからある長柄の橋柱のように、長い時間が経てば口に出さずとも思いは跡形もなくなってしまうということ。

問八

- 線部エ「他なるすさびもはべらぬ」とありますが、そうだったのはなぜですか。その理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **40**。
- ① 親の忠告に従って、幼いころからもっぱら歌草紙ばかりに心を寄せ、ただそれを学ぶことばかりしてきたから。
 - ② 碁や双六は碁の柄が腐ってしまうほど長い時間がかかってしまう点が、子どもながらに良くないと思ったから。
 - ③ 人形遊びと歌草紙を読むことだけは親から許されていたが、成長するにつれ人形遊びには飽きてしまったから。
 - ④ 母に禁じられていたので大人になつたらやるつもりでいた碁や双六も、結婚後はするゆとりがなくなつたから。
 - ⑤ 夜更けの月を眺めても特に心引かれることはなく、幼いころからなんでいる歌草紙を読むほうが気楽だから。

問九

- 線部オ「浜の真砂読み知るべくもあらぬ所々半は過ぎてはべる」とはどういうことですか。最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **41**。
- ① 意味がよくわからない文様のような字が、浜辺の砂のように無数にあること。
 - ② 浦千鳥の歌はすぐ理解できるが、浜辺の砂の歌は半分以上が意味不明なこと。
 - ③ 浦千鳥や浜辺の砂を題にして詠んだ難解な歌が、半分以上を占めていること。
 - ④ 浜辺の砂の歌は、これまで誰も見たことのない斬新な歌が半数以上あること。
 - ⑤ 浜辺の砂の数がわからないように、見てもわからない字が半分以上あること。

(国語問題 おわり)

必 答 問 題

I

次の甲・乙の文章は、同じ筆者によって書かれたものです。これらを読んで、後の問いに答えなさい。
解答番号は **1** ～ **23**。

著作権の関係上、掲載できません。

国語〔前期B方式 1 / 31〕

総合型選抜

公募型学校推薦選抜

英
語
公募型学校推薦選抜

数
学
公募型学校推薦選抜

生
物
公募型学校推薦選抜

化
学
公募型学校推薦選抜

国
語
公募型学校推薦選抜

一般選抜

一般選抜英語

一般選抜日本史

一般選抜世界史

一般選抜生物

一般選抜化学

一般選抜数学

一般選抜国語

音楽実技

著作権の関係上、掲載できません。

— 117 —

B (選)

— 118 —

B (選)

著作権の関係上、掲載できません。

— 115 —

B (選)

— 116 —

B (選)



著作権の関係上、掲載できません。



著作権の関係上、掲載できません。

選択問題 II

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。解答番号は 1 ～ 23。

健康について深く考え始めると、ひとはやがて途方に暮れることになるでしょう。健康とは病ではない状態、つまり心身からの訴えがない沈黙の状態だとひとまず見なしますが、それはやはり消極的な定義にすぎません。健康は人間にとって避けがたい問題である一方、それを知的に定義しようとすると急にあいまいさを示します。宗教も科学も健康の獲得のための知識や技術をテクニクとしてきたわけですが、そのことで健康のもつあいまいさが消えるわけではありません。

では、この知的把握から逃れていくテーマは、いかにして思想の対象となるのでしょうか。(中略)
そもそも、健康は常に病気よりも価値があるのでしょうか。この点について、奥行きのある考え方を示したのがフロイトです。フロイトは神経症(ノイローゼ)が、自我にとって一種の保護機能をもつことを認めていました。彼によれば「疾病への逃避」は「悪いとは言えませんが、彼が一九一七年に刊行した講義録『精神分析学入門』の第二十四講から引用してみましよう。

この逃げ道によって、自我は、疑いもなく苦痛である心的な一大作業から免れることができるのです。それのみならず、医師ですら、その「ろ」の帰結としてノイローゼになることはきわめて無害な、社会的にも我慢のできる解決法だ、と告白せざるを得ないような場合もあります。「人生のあらゆる状況に対して、みずから健康狂信者としての役割に狭く限ってしまうことは、医師にはふさわしいことではないのです。この世で悲惨なのはノイローゼばかりではなく、そのほかにも除去しえない現実的な苦痛があるということ、ときには人間はその健康をやむなく犠牲にせざるを得ない場合もあることを、医師はよく知っています。

フロイトが言うように、人生のつらさは病気だけではありません。健康を第一の価値とすると、しばしば「a」心の逃げ場が失われて、苦痛がいっそうひどくなるのです。病気に対して一方的に保身を押す健康至上主義は、人生を思苦しい密室にしてしまう危険性があります。「b」、フロイトはノイローゼの「c」を認めています。分かりますか? X、短期的には決してマイナスではない、道義的に責められることでもないのです。(1)

しかし、その反面、フロイトは病気にあまりに馴染みすぎることも戒めています。ノイローゼは当然、利益だけではなく苦痛も不快感をもたらすからです。患者にとって、これはやはり損取引です。しかも、長期化した病気は患者の心のなかで、一種の自己保存を目指すようになります。「病気」という心的体制が長期に存続すると、それはついに独立の生きもののようなふるまいをするようになるのです」とフロイトは述べています。(2)

ノイローゼの患者は病気を嘆くにもかかわらず、その解消を望まなくなりました。フロイトの考えでは、それは患者が、病気という「独立の生きもの」にハイジャックされてしまったからです。病気という生きものが、いっしょか患者という生きものよりもユウイに立ち、自らの存続を目指すようになる——フロイトはそのことを警戒して、いました。(3)

要するに、フロイトは病の短期的な利益を認めつつも、それが長期化することにはヒテイ的です。病という逃げ道には、確かに自我を築く効用もありますが、それは「は」もダメなのです。病気のもつ自己保存の力が患者を圧倒してしまえば、それ以上の好結果は望みません。だからここで、フロイトは「もし選択の余地があるならば、私どもはむしろ運命を相手に正々堂々と戦って滅びゆくほうを選びたい」と力強く述べ、病気(運命)に全面的に呑み込まれることには、あくまで抵抗するので。(4)

はなかつたでしょう。病という生きものにハイジャックされることなく、問題に取り組み力を保全すること、それこそが健康の価値なのです。(5)
してみると、健康とは力や意欲に関わるテーマのように思えてきます。「c」、健康とは大なり小なり「意志の強度」の問題ということになりそうである。「d」、それはある程度までは正しいとしても、それだけで問題は片づくでしょうか。この点で、一八世紀の哲学者カントが晩年に記した「諸学部の争い」という興味深い評論は、われわれに有益なヒントを与えてくれます。

この「諸学部の争い」は、級学部、補学、法学、医学、下級学部(哲学)を区別しつつ、後者の価値をヨウゴしようとする大学論です。(中略) カントは下級学部の哲学をヨウゴするわけですが、上級学部を構成する医学にも一定の評価を与えています。宮廷顧問で医師のクリストフ・フーフェラントの著作に応答する形で、彼はそこで「e」の健康観を記していました。自分が健康であると感じる(自分の生がカイトキだという感情にもついで判断すること)はできますが、健康であると知ることは決してできません。——自然な死の原因は、それを感じようと感ぜまいと、すべて病気です。「...」いったん受け入れたらなんとした生活法をまもり、健康そのものと自慢していた私の友人知人のうち、どれほど多くの人が私より先に死んでいったことでしょうか。かれらが自慢しているあいだにも、死の萌芽(病気)は気づかれずにかげらのうちに潜んで発育しつつあったのであり、自分は健康だと感じていた人は、自分が病気だと知っていたのではありません。というの、自然な死の原因はやはり病気だと言いたいようからです。

このカントの指摘は滑っています。カイトキで健康だと「感じる」ことに嘘は混じりませんが、それだけでは健康であると「知る」ことにはなりません。健康自慢の人間にも、病気が密かに育っていることは大いにあり得ます。つまり、健康かどうかの決定は、主観や感覚の能力を超えているわけです。この感覚の不確かさを、今で言えば「ヘルスケア」の要求が、日々の暮らしのなかに留保なく入り込んでくるわけです。(中略)

健康を目に見える形で測量することは困難です。そのため、二〇世紀の哲学者ハンズ・ゲオルク・ガダマーは、健康とは自然科学的に定義できる「事実」ではなく、社会的・心理的な「状態」だと述べています。便利な日本語で言い換えれば、健康とは「モ」ではなく「コト」だというわけです。モノならば制作し計測するところですが、コトを目に見えるものとして制作することはできません。それゆえ、ガダマーによれば、健康とは制作可能性の限界に位置しています。医師は自らの技能に酔いしれることはできません。「e」医師の課題は「作る」と(Machen)ではなく、人々の健康を取り戻し、生活への復帰を容易にするための補助作業にある「からです」。「医学」は「は」的に何ものも作り出さず、自己自身を再生し、自己を再び調和させる生命の驚異的な能力を明らかにしにしなければならぬ唯一の科学である」とガダマーは力強く断言しています。ガダマーが言うように、医学は健康を「はっきりと目に見えるもの」として「制作」するのではなく、あくまで患者の「補助」をするだけです。医師は何も新たに發明しませんが、健康を物理的に仕上げることもできません。患者の意欲や生命の能力に頼らざるを得ないという点で、医師とはもともと、多くの限界を抱えた弱い存在と言わなければなりません。

しかし、現代の医療システムはまさにそのような限界を振り切ろうとしています。「健康な主体であれ」というヘルスケアの呼びかけは、健康を制作可能な「モノ」に近づけています。さらに、何にもまして根源的な変化は、遺伝子工学が健康の制作——遺伝子レベルでの身体増強や障害の根絶——を出発前の着床の時点でやろうとしていることです。健康に関わるテクノロジーは、今や人類をその生の手前で包囲しているのです。

総合型選抜 公募型学校推薦選抜 英 数 生 物 学 国 語 一般選抜 一般選抜英語 一般選抜日本史 一般選抜世界史 一般選抜生物 一般選抜化学 一般選抜数学 一般選抜国語 音楽実技

注1 フロイト(Freud)・フロイト(一八五六年―一九三九年)。オーストリアの心理学者。
 注2 フランソワ・ダゴニエ(François Dagobert)の哲学者(一九二四年―二〇一五年)。
 注3 カント(Kant)・イマヌエル・カント(一七二四年―一八〇四年)。ドイツの哲学者。諸学部の争いは一七九八年の著作。
 注4 クリストフ・ワーフェラント(Christoph Wilhelm)・ヴァイルヘルム・ワーフェラント(一七六二年―一八三六年)。ドイツの医師。
 注5 ハンス・ゲオルク・ガダマー(Hans-Georg Gadamer)の哲学者(一九〇〇年―二〇〇二年)。

問一 線部A、Bの漢字と同じ漢字を含むものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。
 解答番号は ① ⑤。

- A チクセキ ① ボウセキ工場に見学に行った。
 ② メンセキ条項を確認する。
 ③ 故人をアイセキする。
 ④ ルイセキでは負け越している。
 ⑤ セキジツの面影のない故郷。
- B ユウイ ① ユウシを募って活動する。
 ② ユウリヨすべき事態だ。
 ③ ユウジユな態度を取る。
 ④ ライバルとシユウを決する。
 ⑤ 定年を前にユウタイする。

- C ビテイ ① 識者からのビセイを語る。
 ② 昔の地名のビテイは困難だ。
 ③ ビゴウの最期を逃げる。
 ④ アンビ確認を急ぐ。
 ⑤ キビできない試験。
- D ヨウゴ ① この街は交通のヨウシヨウだ。
 ② 執権にヨウリツする。
 ③ 祖父のオンヨウに接する。
 ④ シユウヨウをつんだ立派な人物。
 ⑤ 先例をテキヨウして判断する。
- E カイテキキ ① 違法行為をテキハツする。
 ② 研究ヨテキキのエッセイを読む。
 ③ 大胆フテキキな態度を取る。
 ④ タンテキキな説明がなされた。
 ⑤ 会議でテキキを決定する。

問二 線部i、iiの漢字の読み方として最も適当なものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。
 解答番号は ⑥ ⑦。

i 疾病 ① しつびよう ② しへい ③ しっかん
 ④ しつぺい ⑤ そうびよう

ii 着床 ① ちゃくそう ② じゃくしょう ③ ちゃくしょう ④ つきゆか ⑤ じゃくそう

問三 い ① 往々 ② 全体 ③ 一向 ④ 一概
 ⑤ 雑駁

11. ほ ① 治療 ② 葛藤 ③ 研究 ④ 生涯 ⑤ 病苦

12. が ① 見失って ② 取り繕って ③ 鑑みて ④ いぶかしんで ⑤ 買いかぶって

① 拒否 ② 容認 ③ 検討 ④ 悲観 ⑤ 実感

13. e ① 一面 ② 意識 ③ 究極 ④ 学問 ⑤ 心理

14. a ① 15. d ② 16. e ③ 17. a ④ 18. e ⑤ 19. a ⑥ 20. a

問四 線部甲「含蓋」、乙「萌芽」の意として最も適当なものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は甲が 18、乙が 19。

甲「含蓋」 ① もっともらしき ② 決定的 ③ まとまり ④ 深い意味 ⑤ 先見性

乙「萌芽」 ① 症状 ② 兆し ③ 環境 ④ 進行 ⑤ 始まり

問五 線部甲「含蓋」、乙「萌芽」の意として最も適当なものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は甲が 18、乙が 19。

問六 線部甲「含蓋」、乙「萌芽」の意として最も適当な表現を、次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は 20。

① 重い病を患ってしまったことによって、金銭面などでの保障を得たり、公的な介護を受けたりすることは
 ② 心の不調を「逃げ道」として学校や会社を休んだり、対人関係をしばらくリセットしたりすることは
 ③ 病になつてしまった場合でも、しっかりと病と折り合いを付けて、克服に向けて環境を整えることは
 ④ 心身の不調によつて普段通りの気配りができなくなり、周囲の人々とのあいだに軋轢が生じることは
 ⑤ 勉強や仕事で失敗してしまった場合に、病を理由として直面している事情から「逃避」することは

問七 次の文章が入る最も適当な箇所を、問題文中(1)～(5)の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は 21。

疾病のことを英語で affection と言いますが、この語には「愛着」という意味もあります。病にせよ愛にせよ、まさに「独立の生きもの」として人間をハイジャックし虜(こわ)にすることに違いはありません。常識には反しますが、病にはいなく言い難い魅力があり、だからこそいわゆる「治りたくない患者」もいなくならないのです。

問八 ……線部「もし選択の余地があるものならば、私どもはむしろ運命を相手に正々堂々と戦って滅びゆくほうを選ぶべき」であるとは病に関するフロイトの見解ですが、この見解に至るまでの、フロイトの考えを述べた文として最も適当ものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は 22。

- ① フロイトは、病とは健康でない状態を指し、健康のために様々な研究が進められてきたが、そもそもこのことばの定義自体が難しく、あいまいであると言っている。
② フロイトは、ノイローゼ以上に重大な苦悩は人生においていくらかも存在するのだから、恒常的にノイローゼになることは望ましくないと言えないと述べている。
③ フロイトは、患者にとって「健康至上主義」は望ましい考えではないと指摘し、ノイローゼによって生じる些細な苦悩程度であれば、むしろ必要であると述べている。
④ フロイトは、病は人間にとって利益をもたらす場合もあるが、長期化してしまつと、病に人間が支配された状態になってしまうので、抵抗の必要があると述べている。
⑤ フロイトは、どんなに些細な病にもメリットがある一方、罹患したままでは望ましくない状態であり、徹底的な治療を施すことで、病に抵抗すべきだと述べている。

問九 問題文全体の内容と合致しないものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は 23。

- ① ノイローゼのような症状は、さらに深刻な心理状態から身を守るための手段になりえるものであるため、健康が常に病よりもよい状態とは限らない。
② ノイローゼの患者は、時に症状が解消されることを望まなくなる。それは、患者が病に支配されてしまったため、そうなるのは、改善は望みにくい。
③ 健康を維持するためには病に取り込まれず、問題に取り組む力を保全することが肝心であるので、健康とは意志の力によってこそ維持できるものである。
④ 「健康だ」と感じることは自体に嘘はないが、健康は主観的に観測するのが困難な対象であるので、個人の感覚は健康を保証してくれるものではない。
⑤ 健康は、従来は医療が作り上げることのできる対象ではなかったが、誕生以前の状態で医療が干渉することによって制作可能となる直前にまで至っている。

選択問題 III

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。解答番号は 1～18。

一とせの春、ひとりつれづれとくらし居ける時、光富といふ友の訪ひ来て、我がありさまを見て、「げにひまある身のほどうらやましうござらへ。うき世の中に住みぬれば、しばしだに心しつかからず」とありければ、我とりあへず、と口ずさみ、「けふこそあれ、あすは嵐山の花見にまかりなん」と言ひければ、「それぞうらやむところなる。ただ月花に」といひて身をなすにこと、ほかにはあらんやとは思ひながら、あすとも世のわざにつながらず、ともにかの山へとはえこそ契らね」と言ひて帰るぬ。

その夜半するほどより雨風はげしくなりたれば、さらだに名におふ嵐の山に雨さへ添ひて、いとつ梢に花も残るじと夜の明るるを待ちわびて、養代衣を着るなど雨のよそひして、つとめて出で立ちなんとする折しも、わらはべ文を持て来ぬ。ひらきて見れば、かの光富より詞言ありて、

(B) けふ見ずはあすはあらしの山桜雨もつき世のさがと思はめとありて、奥に「けふの花はさこそ残り多くおぼすらめ」など書き終はりぬ。やがてその使ひに添ひて彼が行きて案内申しければ、「はいかに」と言ひもあへぬに、

(C) 濡るともけふ行きて見ん雨になほあすはあらしの山の桜を」と口とく言ひ捨て、たどり行けば、風荒らましくいや吹き添ひて、雨の足も響きまに降りて、重ね着るものもなりなう濡れしをれつつ行きて、大堰川のほとりにかたばかりなる懸見えつるに立ち寄れば、老いたる法師のひげは雪はづかひなる、浄名居士のさましたる、座せりけり。ここに衣着物をとなくすれば、したたり落つる水は、向かひに見ゆる戸難瀬の流つ波にことならず。人の着せぬ濡衣、花のために着にけるかんとぞろろ寒く震ひ声に「むむ」と笑ひながら、あろりに柴折りくべて、

かわかしあなたためとする頃しも、笠を傾けて来し人を見れば光富にてぞありける。「かかるといかに」と問へば「はいかに」とはいかに、いかに世のわざ捨てたきとて、けさの御詠ありさま、後よりつくづくと見送り、あまりにしたはしく、しとどに濡れてこれまで来たりし」とて、ともにまたそは濡れそは濡れて、日くるまで花を見あそびて帰りはべりぬ。この人身まかりて後、今はかかるころさのやさしき友いつちにかはべらんと忍びわびて、(D) もるともに濡れ来し雨の桜笠思へばけふの袖もかわかず

- 注1 養代衣 蓑の代わりとなる雨具。
注2 奥 手紙の終わりの部分。
注3 大堰川 嵐山の麓を流れる川。桂川の上流、保津川の下流。
注4 浄名居士 維摩居士のこと。維摩は釈迦と同時代の在家の仏教信者。
注5 戸難瀬の滝 大堰川を渡月橋から遡つたところにある滝。

総合型選抜 公募型学校推薦選抜 英 数 生 化 国 一般選抜 一般選抜英語 一般選抜日本史 一般選抜世界史 一般選抜生物 一般選抜化学 一般選抜数学 一般選抜国語 音楽実技

問一 線部ア「つとめて」、イ「やがて」、ウ「そぞろ」の意味として最も適当なものを、それそれ次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号はアが **1**、イが **2**、ウが **3**。

ア「つとめて」

① 準備をして ② 翌日の朝 ③ ようやく ④ 動行をして ⑤ 朝早く

イ「やがて」

① しばらくして ② そのうちに ③ ほかでもなく ④ すぐに ⑤ やつとのことです

ウ「そぞろ」

① むやみやたらに ② 少し ③ 皆ぞろぞろ ④ いっまでも ⑤ 次第に

問二 線部甲「なん」の文法的説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **4**。

① 助動詞「ず」+助動詞「む」 ② 終助詞 ③ 助動詞「ぬ」+助動詞「む」

④ ナ行変格活用動詞未然形活用語尾+助動詞「む」 ⑤ 係助詞

問三 線部 a「言ひければ」、b「思ひながら」、c「言ひもあへぬに」、d「言ひ捨てて」、e「問へば」の主語は誰ですか。最も適当なものを、それそれ次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は a が **5**、b が **6**、c が **7**、d が **8**、e が **9**。

① 浄名居士 ② わらはべ ③ 光雷 ④ 我 ⑤ 老いたる法師

問四 線部 1「しづ心なき」とありますが、なぜ「しづ心」がないと言っているのですか。最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **10**。

① どこに花見に行けばよいか決まらないので。

② ひとりつれづれと暮らしている。

③ 世間の雑事にばかりとらわれている。

④ 桜の花が気になって落ち着かないので。

⑤ 世を捨てた身の行く末が心配なので。

問五 線部 2「ただ月花にことしげく身をなすにしくこと、ほかにまたあらんやは」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **11**。

① 月や花ばかりを眺めて暮らす以上の理想的な暮らしは他にはない。

② 月見や花見に忙しく暮らしている人は他にはいないだろう。

③ ただ月や花のことばかりにかまけている人はまだ他にもいるだろう。

④ 月光や花の美しさに圧倒されることが嵐山以外であるだろう。

⑤ ただ月の光や花びらを敷物として過ごす人は他にはいるまい。

問六 線部 3「さらでだに名におふ嵐の山に雨さへ添ひて」の現代語訳として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **12**。

① そうなつたならば誰もが知る嵐山に雨の風情が加わって

② そうすると桜の名所として有名な嵐山にまでも雨が降り注いで

③ さらにまた別の名を持つ嵐山に雨がいつもより余計に降って

④ そうでなくとも花を散らす嵐の名を持つ嵐山に雨も降って

⑤ たださきさきの花の季節には人の集まる嵐山に雨までがやって来て

問七 (C) の和歌について、掛詞になっているのはどの部分ですか。最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **13**。

① 満るるとも ② けふ行き ③ 見ん雨になほ ④ あすはあらし ⑤ 山の桜を

問八 線部 4「雪はづかしげなる」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **14**。

① 雪のようにわずかに残った

② 雪の中に恥ずかしげに浮かぶ

③ 雪と同じくらい白い桜を思わせる

④ 雪の白さと比べると恥ずかしいくらい白い

⑤ 雪も恥ずかしくなるほど白い

問九 線部 5「人の着せぬ濡衣、花のために着にけるかな」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **15**。

① 他人が花のために着ることはない濡れぎぬを、我先に出掛けて着ることになった。

② 人が私に着せなかつた濡れぎぬを、花を見たさに雨に濡れてしまひ自ら着ることになった。

③ 雨に衣着せぬ言動で、花を散らしたという濡れぎぬを着ることになってしまった。

④ 何より好む花のためならばと、誰もが着たがらない濡れぎぬを着たのだった。

⑤ 人が私に濡れぎぬを着せたのだが、花のために私はあえて濡れぎぬを着たのだった。

総合型選抜
公募型学校推薦選抜
英 公募型学校推薦選抜
語 公募型学校推薦選抜
数 公募型学校推薦選抜
学 公募型学校推薦選抜
生 公募型学校推薦選抜
物 公募型学校推薦選抜
化 公募型学校推薦選抜
学 公募型学校推薦選抜
国 公募型学校推薦選抜
語 公募型学校推薦選抜
一般選抜
一般選抜英語
一般選抜日本語
一般選抜世界史
一般選抜生物
一般選抜化学
一般選抜数学
一般選抜国語
音楽実技

- 問十二 ―線部7「思へばけふの袖もかわかず」について、今日の袖が乾かないのはなぜですか。最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は18。
- ① びしょ濡れになりながら共に桜を眺めた友を思い出して涙を流すから。
 - ② ずぶ濡れになった私を心配して駆け付けてくれた人が今日はいないのがつらいので。
 - ③ わかし共に衣を濡らしたように今日の桜狩でも雨に濡れてしまったので。
 - ④ 以前の桜狩で濡れたことを思い出すと今でも着物に湿り気が残っているように感じられるから。
 - ⑤ 二人で共に眺めた桜花の見事さと思うにつけ今でも涙が出るほどに感動するから。

(国語問題 おわり)

国語〔後期 3/8〕(時間：国語・英語の2科目通して120分)

D 国 語

- 一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。解答番号は1～23。

さて、ここであらためて自問すべきは、なぜ我々は、キャプテン・クックのシンリヤクや大蛇による洪水の歴史を「信じる」ことができるにしても、一定の範囲で理解することができるのか、という問いである。グリンジの歴史家は、たとえば「キャプテン・クックが月に浮かび上がってサーフィンをした」とは言っていない。そうではなく「キャプテン・クックがグリンジ・カントリーにやってきてアボリジニを撃ち殺した」とことを主張している。歴史学者はいかなる意味でも前者の語りを理解することができない。それは、経験的に紡ぎだされた「歴史への真摯さ」として接続可能性を見いだせる余地が見あたらないからである。しかしローズが指摘したように、後者の語りは、歴史学者が理解するオーストラリアの植民地史とのあいだで関係をとり、むしろ、^{注4}「ボリジニは殺されたのである。学術的歴史実践における「真摯さ」においても、オーストラリアンリヤクは起り、アボリジニは殺されたのである。a 大蛇が洪水を起したという歴史は、b 的**い**の世界が我々の「生活世界」において異質でないという意味で無関係とはいえない。c カンケンすると、「よい歴史」と「危険な歴史」とのあいだには、「乗りこえがたい距離」つまりギャップがあるにもかかわらず、我々はグリンジの語る物語りに「歴史への真摯さ」を見いだすことができる。これは、d グリンジの語る歴史が経験的(experiential)に紡ぎだされたからなのではなからうか? (①)

「歴史的事実(historical truth)」との対比で「歴史への真摯さ(historical truthfulness)」への注目・シフトを訴えているのは、テッサ・モリス・スズキである。モリス・スズキは、歴史的真実を一般に歴史家が接近して記述することが可能な「外的な」客観的存在であると想定されているが、これは錯覚であると主張する。ただし、こうした錯覚が生まれるのは、歴史的真実が存在しないからではなく、歴史的真実がムジンゾウにあるからなのである。その一方で、歴史への真摯さは、歴史を探索する主体と探索される客体との関係性のうちにある。(②)つまりここでは、歴史家がムジンゾウな歴史的真実に向かうさいの**ろ**がシフトしているのであり、必然的に過去に接近しようとしている歴史家自身のボジション、歴史家もついている偏見に最大の注意を払う必要が生まれる。

私が、多元的歴史時空のコミュニケーションの可能性にかけるのは、この「歴史への真摯さ」をめぐるプロセスの交渉や共奏が「危険な歴史」とのあいだで不可能ではないと思えるからである。「経験(的事実)」と「真実」を結びつけるプロセスは、^甲「実証主義的な学術的歴史実践とグリンジ・カントリーで行われている歴史実践とのあいだで異なるのだが、とはいえ双方ともは**は**ではなく「実際にあったこと」を問題としている点で一致している。c **い**、グリンジの歴史実践は、近代実証主義的な経験論(emperirican)とは異なる仕方**で**(歴史への真摯さ)を紡ぎだしていることが**できる**。グリンジ・カントリーで営まれている「地方化され」「**い**」的な「歴史分析において、大蛇もクックも(経験的な歴史への真摯さ(experiential historical truthfulness))のうちにある。この(経験的に真摯)であるという特徴こそが、グリンジの「危険な歴史」が、^{注5}「ホロコースト否定論者が含む「間違った歴史」と根本的に異なる点である。(③)」というのも、歴史修正主義者の多くが、「真摯さ」を通じて多元的コミュニケーションを求めはならず、むしろ自分たちの「歴史的真実(虚構)」を排除的に**に**化しようとするコミュニケーションを基礎づけられているのに対し、グリンジの歴史物語りは、あくまでもローカルな文脈において歴史の多元性と共奏を基礎に営まれ、相互的交渉関係のなかで立ち現れてくるからである。(歴史的真実)は、しばしば**イ**サ的に**排**他的になる。しかし(歴史への真摯さ)は、他者に対して開かれている。

双方向的なハイブリッド化、あるいは多元的世界のコミュニケーションについて、グリンジの長老ミック・ランギアリは、私に次のように語ったことがある。

「どう、アボリジニのやり方と白人のやり方を両方学ぶべきだ。世界のどこからきた者であっても、共に暮らし、共に働

くべきだ。これはとても困難ではある。でも少しずつ、お互いを理解しあってゆけばいい。

アカデミックな研究者たちは、このミック・ランギアリの呼びかけに対して、どこまで真摯に応えることができるだろうか。アカデミックな歴史学は、「危険な歴史」が突きつける（経験的な歴史への真摯さ）と交渉関係にはいるべきである。（④）もちろん、チャクラバルティの企てがそうであるように、クロス・カルチュラライジング・ヒストリーもまた、西洋出自の（普遍的）歴史学を否定することがその目的ではない。むしろ私が強調したいのは、歴史学者は、この（普遍性）西洋近代、にあまりに多くを負っているであり、そこから逃れたふりをすべきではない、という点である。（⑤）であるならば、この（普遍的）歴史学から逃れられないために遭遇する「歴史の限界」をインベイス、それをあからさまに記述することがますます重要なものではあるまいか。それは、「永続的緊張関係にある、互いに」は「二つの視座の対話」なのであり、こうした対話を思想的に営むのがチャクラバルティの「ヨーロッパの地方化」論であり、これをエスノグラフィックに行うのが「歴史の詩学」であるならば、クロス・カルチュラライジング・ヒストリーの企ては、この両者の交差点に立ち、「危険な歴史」をめぐる位相をエスノグラフィックに叙述しつつ（経験的な歴史への真摯さ）をつうじた多層的歴史時空の接続可能性——ギャップこしのコミュニケーション——をどこまでも粘り強くモサクしつつ磨きあがある、ということができるだろう。

注11 コーは「最もあてにならない所」に権力作用を探し求めた。こうした権力作用が可視化された現在、我々は「最もあてにならない所」から立ち現れる歴史と対話する術を学ばなければならない。（保野実、「ダイカル・オーラル・ヒストリー」オーストラリア先住民アボリジニの歴史実践）による）

注1 キャプテン・クック、ジェームズ・クック（一七二八年～一七七九年）。一七七〇年にオーストラリア東海岸に到達したイギリスの海洋探検家。

注2 大蛇による洪水の歴史。一九二四年にグリーンジ・カントリーで起こった洪水。洪水の原因について、グリーンジ・カントリーでは、長老の一人が水を司る大蛇に降雨を依頼したためであると理解されている。

注3 グリンジ・アボリジニ（オーストラリアおよび周辺の島々の先住民の社会を構成する約六〇〇の言語グループの一つ。それぞれの言語グループには、経済的・社会的・霊的に結びついた土地があり、それを「カントリー」と呼ぶ。

注4 ローズ・デボラ・バード・ローズ（一九四六年～二〇一八年）。オーストラリアの文化人類学者。

注5 テッサ・モリス・スズキ・オーストラリアの歴史学者（一九五二年）。

注6 ホロコーストにナチス政権とその協力者によるユダヤ人の迫害および殺戮。

注7 コロニアル「植民地的」という意味。空間的ならびに精神的な概念。

注8 チャクラバルティ「デイベシユ・チャクラバルティ（一九四八年）」。インドの歴史学者、哲学者。

注9 クロス・カルチュラライジング・ヒストリー「歴史そのものを見直そう」という、著者である保野実の試み。

注10 エスノグラフィック「文化人類学の調査方法で、異文化の中に入り込んで行動観察やインタビューを行うこと。

注11 デニング・クレック・デニング（一九三二年～二〇〇八年）。オーストラリアの歴史学者。

注12 フーコー「ミシェル・フーコー（一九二六年～一九八四年）。フランスの哲学者、作家。

問一 〰〰〰線部A～Fの漢字と同じ漢字を含むものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は 1 ～ 6。

- A シンリヤク ① I T 業界でヤクシンする。
② シンサンをなめる結果になった。
③ シンチオウな性格である。
④ 作家の日記やシンシを公開する。
⑤ 領海をシンパンする。

- C ムジンゾウ ① 家畜のゾウモツを売買する。
② ゴウイの罪に問われる。
③ 趣味で車をカイゾウする。
④ 写真をケンゾウに出す。
⑤ ジソウ菩薩へのお供え物。

- E インベイ ① シヤヘイ物のない交差点。
② 食品をミツベイして保存する。
③ カヘイ経済の衰退がはじまる。
④ 神社でベイエを祈願する。
⑤ ケツベイを食べる文化。

- F モサク ① フクモの期間。
② 水草がハンモする。
③ モシオをかけて食べる。
④ モヨリ駅まで徒歩三分。
⑤ モハンのな行動。

- 問二 a e に入る最も適当な言葉を、次の①～⑥の中から一つずつ選び、それぞれマークしなさい。（同じ記号は一度しか選べません。解答番号は a が 7、b が 8、c が 9、d が 10、e が 11。）

- 問三 い ほ に入る最も適当な言葉を、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は 15、16。

- 15、16 は 12、13、14、15、16

問四 ―線部甲「実証主義」、乙「ハイブリッド」、丙「位相」の意味として最も適当なものを、それぞれ次の①～⑤の中から二つずつ選び、マークしなさい。解答番号は甲が〔17〕、乙が〔18〕、丙が〔19〕。

甲「実証主義」

- ① 観念や精神の根底には物質があると考え、それを重視する立場。
- ② 歴史資料に記載されている事からのみで事実だとする立場。
- ③ 人間は何のために存在するのかを説明しようとする立場。
- ④ 経験的事実のみにもとづき、超越的存在や形而上的推論を認めない立場。
- ⑤ 結果にもとづいて、その行為の妥当性を判定しようとする立場。

乙「ハイブリッド」

- ① 臨機応変に対応すること。
- ② 効率的なエネルギー消費を実現すること。
- ③ ノイズやむずみずみを最小限に抑えること。
- ④ お互いが利害関係にあること。
- ⑤ 異種の間を組み合わせること。

丙「位相」

- ① 全体における位置づけやある局面での姿。
- ② 様々な特徴の中から選択したもの。
- ③ 変化し続ける中でも変わらない本質。
- ④ ある特定の行動が相手に与える心象。
- ⑤ 多種多様なものが織りなす重層的なあり方。

問五 次の一文が入る最も適当な箇所を、問題文中(①)～(⑤)の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は〔20〕。

だが、こうした歴史学が一九世紀西洋の産物であることが繰り返し指摘されてきた以上、もはやそこに安住するわけにもいくまい。

問六 ―線部I「よい歴史」と「危険な歴史」とありますが、問題文の筆者が意図する「よい歴史」または「危険な歴史」の具体例として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は〔21〕。

- ① キャプテン・クックが月に出かけてサーフィンをしたという歴史は「危険な歴史」である。
- ② 大蛇が洪水を起こしたという歴史は「危険な歴史」である。
- ③ ドイツにおいてホロコーストがなかったという歴史は、「よい歴史」である。
- ④ 歴史学者が理解するオーストラリアの植民地史は「危険な歴史」である。
- ⑤ 西洋出自の(普遍的)歴史学による歴史記述は「危険な歴史」である。

問七 ―線部II「これは錯覚である」とありますが、モリス・ススキのこの見解をふまえた上で問題文の筆者が主張しているのは、どのようなことですか。最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は〔22〕。

- ① 歴史家たちは、グリーンジ・カントリーの歴史実践は近代実証主義のプロセスを経た歴史的真実ではないとし、あり得ない無数のものの一つとして捉えているということ。
- ② 歴史家たちが客観的に解釈された唯一無二なる歴史的真実を追い求め、様々な考察を無数に繰り返してきた結果、真実が曖昧なものになってしまったということ。
- ③ 歴史的真実に向き合う態度は無数にあるのであって、西洋近代において確立された歴史学にもとづく方法論のみに限定することはできないということ。
- ④ 歴史とはあくまでも主観的なものであり、歴史資料や経験にもとづかないという点において、無数の妄想や空想と同じ類のものであるということ。
- ⑤ 過去の無数の出来事の中から何を選択して歴史的事実として記述するかは、歴史家自身の選択に依拠する主観的なものであるということ。

問八 ―線部III「最もあてにならない所」から立ち現れる歴史と対話する術を学ばなければならない」とありますが、それはどのようなことですか。最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は〔23〕。

- ① グリンジ・カントリーにおける歴史実践はアカデミックな歴史学の方法とは大きく異なるものだが、それを無視することなく、むしろそのような歴史実践にもとづいて新たな歴史を構築してゆくことが求められている。
- ② グリンジ・カントリーで紡ぎ出される歴史のように、アカデミックな歴史学と異なる場所で営まれる歴史実践を排除せずに取り上げ、他者との共感の幅をどこまで拡張可能かを考えてゆくことが求められている。
- ③ 歴史資料を客観的に分析して導き出された歴史的真実にもとづいて真摯に歴史を構築し、その中にグリーンジ・カントリーの歴史実践を位置づけることで、対話の前提を共有してゆくことが求められている。
- ④ 歴史的真実は無限に存在するのであり、個々人の思想に適したものを真実として選択し、積極的に歴史を書き換えることで、お互いが納得する歴史を真摯に作り上げてゆくことが求められている。
- ⑤ アポリジニの歴史も白人の歴史もそれぞれが別個の歴史であるが、その相違を理解した上で、アカデミックな歴史学の方法論にもとづいて新たな歴史を構築してゆくことが求められている。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。解答番号は 24 44。なお中略した部分では、太子が、国を出て流離するうちに偶然、父大王の宮城にたどり着き、象の飼育舎で宿を借りて夜に琴を弾くと、音色が高楼にいた大王に聞こえて、弾き手を探る使者が飼育舎を訪れたので、自分は宣言によって盲目になり、やつれて流離する身であることを話します。

今は昔、天然に阿育王と申す大王おはしけり。一人の太子あり。拘摩羅といふ。形貌端正にして、心性正直なり。すべてよづの事、人にすぐれたり。しかれば、父の大王、寵愛し給ふ事、限り無。この太子は前の太子の子なり。今後は継母にて、**イ** ありける。それに、この太子のあり様を后見て、愛欲の心を発して、**A** 他の事無し。この后の名をば帝戸羅といふ。

后、この事を思ひ、慙くに堪へずして、つひに人無き隙を計りて、太子のまします所にひそかに寄りて、太子に取りかかりて、忽ち懐抱せむとす。太子、その心無くして、驚きて逃げ去りぬ。后、大に怨を成して、静かなる隙を計りて大王に申さく、「この太子 **ロ** 我 **ハ** 思ひ懸けたるなり。大王、速かにその心を得給ひて、太子を試め給ふべし」と。大王、この事を聞きて、「これ、定めて后の讒謀ならむ」と思ふ。

大王、ひそかに太子を呼びて、のたまはく、「汝、同じ百にあらば、おのづから悪しき事、ありぬべし。一つの国を汝に与へむ。その所に行きて住して、我が宣言に随ふべし。たとひ宣言ありといふ **ニ**、我が盲目無くは、用ゐるべからず」といひて、徳又戸羅国といふ遠き所に送り給ひつ。

太子、その国に住してあるほどに、継母の後、この事を思ふに、なほ極めて安からず思ひて構ふるやう、大王に酒をよく吞ましめて、極めて酔ひ臥し給へる間に、**B** この菌印を指し取りつ。その後、太子の住し給ふ徳又戸羅国へ、たばかりて宣言を下すやう、「**C** 太子の二つの眼を抉り捨て、太子を国の境の外に追却す」と使を差して下しつ。使、かの国に行き着きて、宣言を与ふ。太子、この宣言を見給ふに、「我が二つの眼を抉り捨て、我を追ふべし」とあり。**D** 大王の菌印あれば、疑ふべきにあらず。歎き悲しむ心深しといへ **ホ**、一我、父の宣言を背

くべからず」といひて、忽ちに旃荼羅を召して、哭く哭く二つの眼を抉り捨てつ。その間、城の内の人、皆これを見て、悲しび哭かざる者無し。
(中略)
使、驚きて急きかへり参りて、この由を申す。大王、これを聞き給ひて、肝迷ひ心失せて、盲人を召して事のあり様を問ひ給ふに、上の件の事を申す。大王、これ偏に継母の後の所為なりと知りて、忽ちに后をつみせむとするに、太子、ねんごろに制止して、その前を申し止め給ふ。

大王、哭き悲しんで、菩提樹の寺に一人の羅漢を申す。名をば婆沙大羅漢と申す。その人、三明六通明らかにして、人を利益する事、仏のごとし。大王、この羅漢を請じて、**C** 願はくは聖人、慈悲を以て我が子の拘摩羅太子の眼をもとのごとく得しめ給へ」と哭く哭く申し給ふに、羅漢のたまはく、「我、妙法を説くべし。国内の人、悉く来たりて聴くべし。人ごとに一つの器を持つて、人、法を聞かむに、貴びて泣かむ涙を、その器に受けて、それを以て眼を洗はば、もとのごとくに成りなむ」と申し給へば、大王、宣言を下して、国内の人を集む。速く近く、人々集まる事、雲のごとし。その時に、羅漢、十二因縁の法を説く。この集まりたる人、皆、法を聞きて貴びて、泣かずといふ事無し。その涙をこの器に受け集めて、金の盤に置きて、羅漢、誓ひていはく、「およそ我が説く所の法は、諸仏の至れる理なり。理、もし実ならずして説く所に訛謬あらば、この事を得じ、もし実あらば、願はくはこの衆の涙を以て、かの首したる眼を洗はむに、明らかなる事を得て、見る事、もとのごとくならむ」と。この語を発して、畢りて涙を以て眼を洗ふに、**E** 出で来て、明らかなる事を得て、もとのごとくなり。その時に、大王、首を低げて羅漢を礼拝して喜び給ふ事、限り無し。その後大臣、百官を召して、或いは官を退け、或いは過無きを免し、或いは外国へ遷し、或いは命を断つ。かの太子の眼を抉りし所は、徳又戸羅国の外、東南の山の北なり。その所には率堵婆を立てたり。高さ十丈余なり。

その後、国に盲人あれば、この率堵婆に祈請するに、皆明らかになりて、もとのごとくなる事を得たりといへりとなく、語り伝へたることや。

注1 阿育王は古代インドの王、アショーカ王。治世は、紀元前二六八年から三三三年まで、仏教を保護した。
注2 菌印は文書が本物であることの証明となる商標。
注3 旃荼羅は古代インドの最下層民。人名ではない。
注4 つみせむは処罰しよう。「つみす」は罰する、罰を与える。
注5 菩提樹の寺は菩提樹の木が茂っている寺院。
注6 羅漢は「阿羅漢」の略。仏教の修行によって最高の境地に到達した聖者。
注7 三明六通は阿羅漢などが身に付けている超能力の総称。
注8 十二因縁は無明（無知）以下、人間の苦悩の根元となる十二の条件、それらを断つことで苦悩が消滅する。
注9 諸仏に至れる理はもろもろの仏が到達した究極最高真理。前出の「妙法」も、ほぼ同じ意。
注10 訛謬は誤り、誤謬。
注11 率堵婆は仏塔。多くは釈迦の遺骨を納めるが、他に仏跡・霊場の指標としても建てられた。「卒堵婆」とも書く。
注12 十丈は約三メートル。

問一 **イ** **ホ** に入る助詞として最も適当なものを、それぞれ次の①～⑧の中から一つずつ選び、マークしなさい。同じ記号を何度選んでもかまいません。解答番号は **イ** が **24**、**ロ** が **25**、**ハ** が **26**、**ニ** が **27**、**ホ** が **28**。
① か ② は ③ ぞ ④ こそ ⑤ を ⑥ ば ⑦ ども ⑧ とも

問二 **A** **E** に入る語として最も適当なものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。同じ記号は一度しか選べません。解答番号は **A** が **29**、**B** が **30**、**C** が **31**、**D** が **32**、**E** が **33**。
① あらはに ② さらに ③ 速やかに ④ つひに ⑤ ひそかに

問三 線部a～cの助動詞「べし」の文法的意味の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～⑥の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **34**。
① a命令・b当然…c可能 ② a推量・b推量・c意志 ③ a当然・b推量・c意志
④ a当然・b推量・c当然 ⑤ a命令・b当然・c意志 ⑥ a命令・b当然・c推量

問四 線部A～Dの敬語は誰に対する敬意を表していますか。最も適当なものを、それぞれ次の①～⑧の中から一つずつ選び、マークしなさい。同じ記号を何度選んでもかまいません。解答番号はAが **35**、Bが **36**、Cが **37**、Dが **38**。
① 語り手から大王 ② 語り手から后 ③ 語り手から太子
④ 語り手から羅漢 ⑤ 大王から羅漢 ⑥ 大王から太子
⑦ 太子から大王 ⑧ 大王から太子

問五
 線部1～4の意味として最も適当なものを、それぞれ次の①～④の中から一つずつ選び、マークしなさい。
 解答番号は1が□39、2が□40、3が□41、4が□42。

- 1 「用ゐるべからず」
- ① 使用してはならない
 - ② 用意してはならない
 - ③ 重用してはならない
 - ④ 採用してはならない

- 2 「なほ極めて安からず思ひて構ふる」
- ① まだかなり不安定だと思つてたくらんだ
 - ② まだかなり安全ではないように思つてたくらんだ
 - ③ まだかなり厭(いと)かましい思いがしてたくらんだ
 - ④ まだかなり穏やかならぬ思いがしてたくらんだ

- 3 「人、集まる事、雲のごし」
- ① 雲のように人がどこからともなく湧き出た
 - ② 雲のように人が大勢になった
 - ③ 雲のように人が不定形になった
 - ④ 雲のように人が流動していた

- 4 「この事を得じ」
- ① 太子の両眼はもとに戻せないだろう
 - ② 太子の両眼を得ることはできないだろう
 - ③ 最高の教理を得ることはできないだろう
 - ④ 最高の教理とは言えないだろう

問六
 問題文の話の内容についての説明としてふさわしくないものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。
 解答番号は□43。

- ① 羅漢は、最も重要な働きをしたが、その説法をありがたく思つて涙を流した国民の役割も重要である。
- ② 国王は、羅漢に対し深く頭を下げて感謝したが、太子の両眼を蘇(よ)らせる前から敬う気持ちを持っていた。
- ③ 国王は、太子が盲目になったことについて、后以外の人物にも何らかの関与があったと思つて処罰した。
- ④ 后は、継子のことについて国王に告げ口をしり勝手に宣言を出したりしたために、罰せられさうになった。
- ⑤ 太子は、国王に対しては怨む気持ちを一度も抱かず、后に対しては親として大事にしようとする心が無かった。

問七
 次の甲のア～オのうち、問題文の話に関わる文字的説明としてふさわしくないものはいくつありますか。最も適当なものを、乙の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は□44。

- 甲
- ア 継母が継子を迫害する話における継子の性別は、他の作品でも男子に限られる。
 - イ 継母が継子を迫害する話は、平安時代の物語にも複数見られる。
 - ウ 「今昔物語集」と同じく平安時代に編集された説話集に「宇治拾遺物語」がある。
 - エ 「今昔物語集」には、インドのほかに、日本や中国を舞台とする説話が収められている。
 - オ 「今昔物語集」は、仏法を説くために編集された鎌倉時代の仏教説話集である。
- 乙
- ① 一つ
 - ② 二つ
 - ③ 三つ
 - ④ 四つ
 - ⑤ 五つ

(国語問題 おわり)